

観る 体験する 味わう 学ぶ 産業観光は面白い!

ものづくり王国

まっぴら

名古屋・愛知・岐阜・三重・静岡

を旅する



福田敏男先生に聞く
ロボット工学最前線
対談
尾張徳川の姫君たち
夢重由里子×山本泰一
愛知・岐阜・三重
中部のこれが日本一!



中部・ものづくりの源流

ものづくり名古屋のルーツを訪ねて

豊かな風土が育んだ、
ここだけの「うまいもん」
知多半島／濃尾平野

日本最強のやきもの王国に行く
美濃／瀬戸／常滑

トヨタものづくりのDNAをたどる



三英傑とものづくり
安田文吉

こんなものみつけた!
**ミュージアムグッズ
& 名古屋みやげ**



人々が紡ぐ物語との出会いが待っている
**元氣な中部の
産業を観光しよう!**

経済産業省 平成18年「サービス産業創出支援事業(観光・集客交流サービス分野)」『I TOURS クラブ』サービス機構



観る 体験する 味わう 学ぶ 産業観光は面白い!

ものづくり王国を旅する

名古屋・愛知・岐阜・三重・静岡

このガイドブックは、平成18年度経済産業省「サービス産業創出支援
(観光・集客交流サービス分野)」事業『I TOURS クラブ』プロジェクトから生まれました。

『I TOURS』は、ものづくり文化にふれる旅 = 産業観光。
大人の自由時間を、知的好奇心で満たすユニークな体験で彩ります。

●『I TOURS』の「I」には、こんな意味が込められています。

- ・インダストリー = INDUSTRY = 「産業」「ものづくり」の「I」
- ・インテリジェンス = INTELLIGENCE = 「知性」の「I」
- ・インスピレーション = INSPIRATION = 「ひらめき」「着想」の「I」

●「産業観光」については、本誌100ページを
ごらんください。

●『I TOURS クラブ』プロジェクトは
「ものづくり王国＝名古屋・中部」の豊かな産業文化の
伝統を背景に、ものづくり文化の施設や遺産、物語や人
と出会う旅のプログラムを提案します。

●『I TOURS クラブ』プロジェクトでは、
平成17・18年度と、産業観光に関する各種調査や
テストツアーを行っています。

- ・企業、ミュージアムの
産業観光調査
(産業技術記念館、
博物館 明治村、
かわら美術館 ほか)



・海外からの研修エンジニアが初めての「機織体験」
(「ビジネスパーソンの休日ものづくり小旅行 in 豊田市」にて)



・江戸幕府御用達の名窯「幸兵衛窯」での作陶体験&
「三千盛酒造」で舟口の新酒を試飲

・桃山期の出土古陶を手にとって鑑賞する貴重な体験
(「やきもの千年 出会い旅」瀬戸・美濃2泊3日ツアーにて)

ものづくり文化と出会う
旅に出かけませんか――

**『I TOURS クラブ』
ただ今、会員募集中!**

本誌アンケートに
ご協力いただいた方の中から抽選で
**ギフト券 1万円×3名
5000円×10名**
の方にプレゼント!

入会は下記から。お待ちしております。

- ◆ ホームページ ◆
<http://itours.jp> からお申込みください。
- ◆ ガイドブック ◆
「ものづくり王国を旅する」
巻末のアンケートからお申込みください。

『I TOURS クラブ』サービス機構
事務局(代表団体) 株式会社 エイ・ワークス内
〒460-0008 名古屋市中区栄1-10-2
サカエスカイビル3F
TEL.052-232-0831 FAX.052-232-0833

定価: 本体800円 + 税

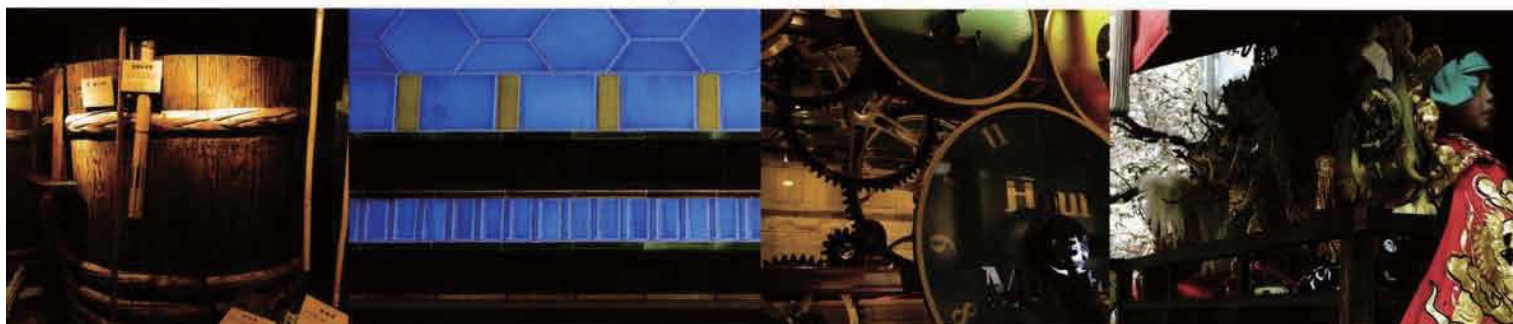
ISBN4-398-24975-3

9784398249753

C9426 ¥800E

雑誌コード64571-48 通巻48号

1929426008003



元気な中部の産業を観光しよう！ ようこそ。 ものづくり王国へ。

いま、中部は元気だと言われています。

たしかに、自動車関連企業をはじめ多くの分野で産業界は活気を呈しています。そして、それは中部の地域が古くからずっと培ってきた「ものづくり文化」の蓄積のうえに成り立っているのです。

わたしは関西の出身で、実は名古屋や中部の地域文化に対するポジティブなイメージを持っています。名古屋城と海老フライが名物？といったプアな情報しかなかったのです。けれど、名古屋に移り住んでみると、意外な発見の連続でした。

街はゆったりして緑も多く、すぐ近くに海も山もあつて、魚貝、野菜、果物……と、自然の恵みがたつぷり。陶磁器が好きなのですが、瀬戸・美濃のやきもの文化がこんなに素晴らしいということも、はじめて認識しました。さらに、この地には自動車だけでなく、よく知られた製品のメーカー本社が多数ある。これは凄い！

愛知県の工業製品出荷額は29年連続日本一。そんなものづくりの厚い集積の背後に何があるのだろうか？

まず「産業遺産」のテーマと出会いました。日本の産業技術の発展を支えてきた多くの遺産。その、例えば鑄鉄の機械のなんと重厚で輝かしいこと。そして、産業技術史の連続、派生、関連の、実に興味深いこと！「伝統工芸」の世界もあります。匠の技から生まれる機能的で美しい製品の数々。また、世界に優れた製品を送り出している「生産現場」では、その精神と技術に触れることができ、現場の歴史と関わった人々のドラマは企業ミュージアムなどでひしひしと感じ取れるのです。「農業・漁業・林業」などの分野では、得難い体験もできます。

……と、幅広くものづくりに出会うことのできる新しい旅。それが産業観光なのです。すごく面白いので、ぜひこの地域を訪ねてみてください。ものづくり文化に触れる知的な愉しみを、ぜひ共有してください。そんな思いで、この冊子を編みました。そして、ものづくり文化は全ての地域にあるので、多くの地域の方々と情報交換ができれば、こんなに嬉しいことはありません。

では、どうぞ、ものづくり王国の旅へ。

素敵な発見と感動のある旅になりますように。

『I TOURS クラブ』サービス機構 代表

赤崎 まき子

『I TOURS クラブ』URL ● <http://itours.jp/>





トヨタ・コンセプトカー (豊田市)



博物館 明治村 (犬山市)



八丁味噌 (岡崎市)



博物館「酢の里」 (半田市)



常滑焼 (常滑市)

- ❖ 豊田市
- ・トヨタ鞍ヶ池記念館
 - ・トヨタ会館
 - ・豊田市美術館
 - ・豊田市近代の産業とくらし発見館
 - ・とよた科学体験館
 - ・和紙のふるさと
 - ・手づくり工房・山遊里
 - ・三州足助屋敷
 - ・ホテル百年草

- ❖ 犬山市
- ・どんでん館
 - ・犬山市文化史料館
 - ・博物館 明治村

- ❖ 長久手町
- ・トヨタ博物館

- ❖ 岡崎市
- ・まるや八丁味噌
 - ・(合)八丁味噌

- ❖ 西尾市
- ・あいや西条園

- ❖ 半田市
- ・博物館「酢の里」
 - ・國盛 酒の文化館

- ❖ 常滑市
- ・中部国際空港 セントレア
 - ・やきもの散歩道
 - ・共栄窯
 - ・セラミックアートスクール
 - ・INAXライブミュージアム

- ❖ 四日市市
- ・ばんこの里会館
 - ・味の素株式会社事業所

- ❖ 伊賀市
- ・伊賀の里
 - ・モクモク手づくりファーム
 - ・伊賀くみひもセンター
 - ・組匠の里

- ❖ 松阪市
- ・松阪木綿手織りセンター

- ❖ 鳥羽市
- ・ミキモト真珠島



飛騨の家具 (高山市)



美濃和紙 (美濃市)



美濃焼 (多治見市・土岐市・瑞浪市)



瀬戸焼 (瀬戸市)



ノリタケの森



浜松市楽器博物館 (浜松市)

- ❖ 白川村
- ・どぶろく祭りの館
 - ・旧遠山家民俗館
 - ・野外博物館合掌造り民家園
 - ・トヨタ白川郷自然学校

- ❖ 飛騨市
- ・飛騨の匠文化館

- ❖ 高山市
- ・高山祭屋台会館
 - ・日下部民藝館
 - ・飛騨高山春慶会館
 - ・飛騨の家具館

- ❖ 美濃市
- ・旧今井家住宅・美濃史料館
 - ・美濃和紙の里会館
 - ・美濃和紙あかりアート館

- ❖ 多治見市
- ・岐阜県陶磁資料館
 - ・幸兵衛窯
 - ・市之倉さかづき美術館
 - ・セラミックパークMINO
 - ・岐阜県現代陶芸美術館
 - ・たじみ創造館

- ❖ 土岐市
- ・駄知印判館
 - ・織部の里公園
 - ・美濃焼伝統産業会館

- ❖ 瀬戸市
- ・瀬戸蔵ミュージアム
 - ・小長曾の古窯址
 - ・一里塚本業窯
 - ・窯垣の小径

- ❖ 湖西市
- ・豊田佐吉記念館

- ❖ 浜松市
- ・ヤマハ本社
 - ・浜松市楽器博物館
 - ・彦彦琴三味線店
 - ・機鈴木楽器製作所
 - ・うなぎバイファクトリー
 - ・エアパーク
 - ・航空自衛隊浜松広報館
 - ・浜松まつり会館

ものづくりの旅マップ

今回ご案内したスポット。
まだまだご紹介し足りないのですが...



産業技術記念館



文化のみち二葉館



徳川美術館・徳川園



名古屋市



有松・鳴海校会館

木

「木の文化」ぬきに、中部のものづくりは語れない。時はさかのぼり、徳川家康が豊臣家を滅ぼした元和元（1615）年。初代尾張藩主・徳川義直は結婚に際し、家康から化粧料として木曾の山林を与えられた。裏木曾も含むと20万haに及ぶ豪華な結婚祝いだ。切り出された木曾の檜は、木曾川を一気に下り、伊勢湾へ。さらに名古屋城築城時に開削された堀川で、白鳥の貯木場に集められた。幕府直轄地の飛驒の木も流送され、名古屋は国内最大級の材木の集散地に。豊かな「木」を背景に、中部は大きくものづくり文化を開花させる。

「頭、胴、歯車など、それぞれ違う木を使います。この地には木材が豊富にありました」と語るのは、江戸時代から続く「からくり人形師」九代玉屋庄兵衛さん。祭りを彩るからくりが最も盛んだったのは、1700年代。最新のテクノロジーと芸術を町ことに競い合った。また、木工技術発達に伴い、軍笛や仏具の金具づくりなどその周辺技術の水準も高まり、金属加工技術の萌芽をもたらした。

明治期には、名古屋発の時計がアジアで一大ブームを巻き起こす。その理由は、江戸時代から培ってきた時計づくりの技術（ムーブメント）と価格の安さだ。名古屋では、当時大きなコストを占めた時計の外箱を安くつくることができた。江戸時代から続く、材木商の八代目鈴木惣兵衛が明治26（1893）年に設立した現愛知時計（株）は、航空機のメーター、航空機生産を開始。今や、センサーや水道などメーター類のトップメーカーだ。

豊富な木材の集積は、織機、自動車、航空機の開発など、現代に至る中部のものづくり産業を育む豊かな土壌だったのだ。

土

600万年前、中部にあった「東海湖」は、愛知県知多半島南部、岡崎、豊田、瀬戸、西は鈴鹿山脈に至る巨大な湖だったという。注ぎ込む川が長い年月をかけて土砂を運び、湖が消滅したのは約120万年前。豊かな農作物を育てる肥沃な大地をつくった。

そして、良質な陶土が堆積したのが、湖の北と南、瀬戸と常滑。瀬戸には鉄分の少ない粘土、常滑には鉄分が多い赤土。この地域で窯業が発達し、日本六古窯の2つに数えられるようになったのは、この「土」による必然だった。

技術を持った人が集まり、技術がいつそう磨かれ、陶磁器産業が花開く。そしてさらに、近代的な陶磁器産業へと飛躍を遂げる。

例えば世界でもトップクラスのセラミックメーカーが名を連ねる森村グループ。明治中期に森村組が輸出用陶磁器の調達拠点としてやきものの産地、瀬戸に近い名古屋の地に支店を開設。後に自ら洋食器を製造することを決意し、同37（1904）年に日本陶器合名会社（現ノリタケカンパニーリミテド）を創立、日本で初めての近代的な陶磁器量産工場を建設した。その後、大正7（1918）年に磚子部門が分離独立して現日本ガイシが、さらに昭和11（1936）年には同社から点火栓部門が独立して日本特殊陶業が設立されるなど、次々と発展を重ねた。

また常滑では、フランク・ロイド・ライトが旧帝国ホテル建設に際し「知多半島の土」で焼いた黄色いタイルに注目したことを契機に、大正13（1924）年、伊奈長三郎が現INAXを創立。建築用タイルの量産を開始し、衛生陶器、建材などへ進出していった。

こうしたセラミックス産業は、今や電子、エネルギー、環境、バイオテクノロジーなど幅広い分野に技術発展し、中部のものづくりをリードしている。

「ものづくり王国」年表

- ◎古墳時代3世紀後半頃～6世紀頃まで
朝鮮半島から須恵器が伝わり生産がはじまる
猿投窯で須恵器、灰陶などが焼かれる
- ◎平安時代（794年～）
愛知県で瀬戸焼はじまる
岐阜県東濃地方、愛知県常滑で須恵器の生産がはじまる
- ◎鎌倉時代（1192年～1333年）
陶祖・加藤四郎左衛門景正により中国製陶法が紹介され、瀬戸は陶製の中心地になる
- ◎室町時代（1336年～1573年）
常滑で壺など日常雑器が焼かれるようになる
- ◎安土・桃山時代（1575年～1600年）
文明9（1482）年頃中国、朝鮮半島から「綿種」が伝来し、気候が温暖な中部以西で綿栽培がはじまる
茶の湯の流行とともに東濃地方で志野、織部など桃山陶が焼かれるようになる
- ◎江戸時代（1603年～1867年）
慶長13（1608）年
「有松・鳴海絞」が開祖・竹田庄九郎ら8人によって考案される
慶長15（1610）年
名古屋城築城がはじまる
元和元（1615）年
名古屋城本丸御殿が完成
元和6（1620）年
東照宮祭に初の山車からくり「橋弁慶車」が登場する
享保元（1716）年
徳川吉宗・享保の改革
享保16（1731）年
七代藩主・徳川宗春が東照宮祭を以前の盛大な祭りに戻し、遊芸を奨励
享保18（1733）年
人形師・玉屋庄兵衛を京から招く

- 文化4（1807）年
唐津焼・有田焼の技術を習得した瀬戸の陶工・加藤民吉が帰郷する
嘉永6（1853）年
ペリー、浦賀に来航
- ◎明治時代（1868年～1912年）
明治元（1868）年
明治維新・五箇条の誓文
明治9（1876）年
森村市左衛門・豊兄弟が森村組設立
明治10（1877）年
宮島清蔵が滝村の野村茂平次方の水車を借りて紡績をはじめ
明治12（1879）年
甲村瀧三郎が高岡村（現豊田市）で水車による臥雲式機械の運転に成功
杉山弥三郎など高岳町（名古屋市中区）でマッチ製造開始
明治14（1881）年
官営愛知紡績所が岡崎に設置
明治15（1882）年
安藤重兵衛が矢場町（名古屋市中区）に七宝製造工場設置
明治16（1883）年
東京電灯会社設立
明治19（1886）年
名古屋―武豊間 鉄道開通
明治20（1887）年
豊橋で小淵志ちが玉糸製糸技術を確立
時計商の林市兵衛が名古屋に国内初の時計工場「時盛社」を開く
明治21（1888）年
知多半島小鈴谷に盛田命祺が私塾「鈴漢義塾」を開塾
明治22（1889）年
名古屋電燈（株）（幾度の合併を経て現在の中部電力（株））により、名古屋にはじめて電燈が灯る 東海道線全線開通
大日本帝国憲法発布 名古屋市制施行
明治23（1890）年
豊田佐吉・豊田式木製人力織機を発明

ふんわりとした綿花から糸を紡ぎ、布を織る。

江戸から明治にかけて全国有数の綿作地帯だった中部一帯は、日本が近代国家へと飛躍するなかで、日本の紡織産業さきがけの地として発展する。

糸を紡ぐ分野で大きな役割を果たしたのが、「ガラ紡」。明治6（1873）年、長野県の臥雲辰致によって発明されたガラ紡績機をいち早く導入したのが愛知県の矢作川沿いの地域だった。矢作川の上流、岡崎、豊田の山間部では急流を利用して、流れのゆるやかな下流部では船のへりに水車をつけて動力源としてこの機械を運転させた。運転中にガラ紡と音をたてる紡績機。いつしか「ガラ紡」と呼ばれ、地場産業として大きく発展していく。

布をつくる分野では、織機の改良がものづくりの足跡を物語る。農家の仕事として女性たちが行っていた機織り。その姿を見て育ったのが豊田佐吉だ。佐吉は明治29（1896）年、日本最初の動力織機「豊田式汽力織機」を開発。よこ糸切れ自動停止装置、たて糸送出し装置、布の巻き取り装置など数々の自動化をすすめる生産力をそれまでのものから20倍も飛躍させた。その創意工夫と飽くなき情熱は、今も人々を感動させる。佐吉による自動織機の開発は、紡織産業を一気に日本の一大産業へと飛躍させた。そして、そのものづくりはトヨタグループへと受け継がれていった。

糸

鉄

日本に鉄文化が伝来したのは、稲作文化の伝播とほぼ同じ弥生時代初期。やがて大陸からの渡来人によって製鉄技術が伝えられ、鉄鉱石や砂鉄を原料に原始的な製鉄が行われるようになった。この技術が発達したものが「たたら製鉄」。日本各地に広がり、刀剣や茶釜など日本固有の鉄文化を発展させていく。静岡県伊豆の韭山には、幕末、黒船来航に備えて幕府がつくった反射炉が残り、産業遺産として世界的にも知られる。

鉄は、近代の幕開けとともに日本の最も重要な基幹産業として位置づけられたが、中部では、昭和39（1964）年の東海製鉄（現新日鉄名古屋製鉄所）の創業まで、本格的な高炉を備えた製鉄所はなく、その代わりに電気炉による製鋼業が育った。木曽川水系の水力発電に力を注いでいた福沢桃介は、水力発電の余剰電力の活用を考え、名古屋電燈製鋼部をつくり、電気炉による特殊鋼の生産を本格的に開始した。現在の大同特殊鋼の創業である。

もう一つの鉄のものづくりが、自動車産業をめぐる歩みだ。昭和9（1934）年、国産車の開発をめざして豊田自動織機製作所内に自動車の試作工場を建設した豊田喜一郎は、自動車を構成する各種材料の試験、研究を開始。そこで鋼材を自社開発することを決意、製鋼部を設立、トヨタ車の生産を支えてきた。

さらに鉄は工作機械を生み出し、自動車産業をはじめ、中部のものづくりを支えている。

- 明治24（1891）年
濃尾大地震
- 明治26（1893）年
鈴木徳兵衛が愛知時計製造（現愛知時計）設立
- 明治27（1894）年
日清戦争はじまる
- 明治29（1896）年
愛知馬車鉄道（株）、名古屋電気鉄道（株）に社名変更
- 明治30（1897）年
日本銀行名古屋支店開設
- 明治31（1898）年
名古屋電気鉄道（株）により名古屋市内に市電開業。日本で2番目
- 明治32（1899）年
（株）大隈鉄工所（大隈通商）創業
- 明治33（1900）年
岡本松造、自転車（新式）製造業開業
- 明治35（1902）年
鈴木政吉、ワイオリン製造工場を建設
- 明治37（1904）年
ライト兄弟、水冷4気筒エンジンを搭載した飛行機で初飛行に成功
- 明治40（1907）年
日本陶器合名会社（現（株）リタケカンパニーリミテド）設立
- 明治44（1911）年
三重県桑名市の林業家諸戸財閥が民間による上水道の給水事業を開始
日露戦争はじまる
- 大正時代（1912年～1926年）
大正3（1914）年
名古屋の上水道給水開始
- 大正5（1916）年
名古屋電燈が電気製鋼所を設立
- 大正7（1918）年
豊田佐吉、豊田紡績（株）を設立（西区）

- 大正9（1920）年
日本碍子創立（熱田区）
- 大正10（1921）年
三菱内燃機製造（株）が製作した複葉航空機が名古屋上空を飛ぶ
- 大正12（1923）年
関東大震災
- 大正13（1924）年
豊田佐吉が「無停止杆換式豊田自動織機」を発明
- 大正14（1925）年
日本最初のダム式発電所、大井発電所が完成
- 大正15（1926）年
いとう呉服店、松坂屋と改称
- 昭和（1926年～1989年）
昭和5（1930）年
名古屋（貨物）駅と名古屋港を結ぶ中川運河が開通
- 昭和6（1931）年
鈴木バイオリン製造（株）設立
- 昭和7（1932）年
満州事変起こる
- 昭和8（1933）年
国産乗用車「アツタ号」を、地元企業5社が共同で開発
- 昭和9（1934）年
ブラザー工業（株）の創設者により開発が進められた日本初の家庭用本縫いミシンがミシンの心臓部であるシャトルフックの量産化に成功、完成にいたる
- 昭和10（1935）年
（合併により）名古屋鉄道（株）発足
- 昭和11（1936）年
自動車製造事業法公布
- 昭和12（1937）年
トヨタ自動車工業（株）設立
- 昭和13（1938）年
日中戦争はじまる
- 昭和14（1939）年
国家総動員法発令

水

命を育み、農地をつるおし、酒造りをはじめ醸造業を豊かにし、やきものなどさまざまな産業をつくり出す水。ものづくりになくてはならない陰の立役者だ。

慶長15（1610）年 名古屋城築城にあたって名古屋城下と港を結ぶ運河として開削された「堀川」は、物資を運び、水で名古屋を発展させた。江戸時代には木材を城下に運び、昭和初期には輸出用の洋食器を港に届けた。名古屋の大動脈として活躍した堀川、その流れは名古屋の歩みとともにある。

そしてもう一つが、エネルギーを生み出す水。木曾川には、大正13（1924）年に完成した日本初のダム式発電所、大井発電所をはじめ電力史に残る発電所が数々ある。この木曾川の水力発電に情熱を傾けたのが福沢桃介である。福沢諭吉の娘婿である桃介は、明治43（1910）年に名古屋電燈の取締役に就任。暴れ川といわれていた木曾川に次々と発電所を建設した。いつしか桃介は「電力王」と呼ばれ、電源開発とともに、電力を都市に運び産業の発展に結びつける長距離送電体制を築くことにも大きな業績を残した。

その送電になくてはならないのが「碍子」。ここに中部が誇るものづくりの一つ、窯業の技術が生かされている。窯業はものづくりの過程で大量の水を使うため、優れた排水処理技術を培ってきた。これが21世紀の環境問題を解決するテクノロジへと発展する可能性も秘めている。

道

「史上最大の都市計画」といわれる尾張名古屋の城下町づくり。なにしろ、すでにあった人口6〜7万の首都・清洲のすべてを那古野の原野に移すという一大事業。そこには、戦乱の世が治まり始め、流通経済が盛んになるにつれて、城下町が「経済センター」の役割を持つという認識があった。基盤の目のような一直線の道路は、当時としては画期的。城下町が要塞だった頃には、「道」は鍵状に曲がつて張り巡らされるのが普通だったのだから。徳川家康の都市プランは、現在の名古屋発展の基礎になっている。

「経済センター」の基本は交通網。名古屋は当時の幹線道路と離れていたため、これと結ぶ道路を新設した。城下町の中央からほぼ直線で東海道の宮（熱田）へ至る道、中山道に直結する清洲への道、木曾街道・善光寺街道と結ぶ道、岡崎・信州伊那への街道である。ちなみに、江戸・日本橋と京都・三条大橋を結んだ東海道には53の宿場町があり、静岡・愛知・三重には38の宿場があった。

また古代から重要だったのが、物資を運ぶ川と海の道。そこで名古屋城から熱田の浜まで約7kmの運河・堀川を開削。これは環伊勢湾（伊勢湾・三河湾の海域と河川流域）の活発な海運を背景に、名古屋経済発展の大動脈となった。

200石以上の船を尾張藩では「廻船」といい、知多半島だけでも最大200艘あったという。高々と帆を掲げた帆船が、米や塩、やきものなどさまざまな商品を、江戸はもとより全国各地に運んでいた。伊勢方面では松阪木綿の積出港として白子、そして桑名や四日市も活況を呈した。

明治になると鉄道網が整備され、昔ながらの海運は衰退していったが、東海道線に先立ち、明治19（1886）年に武豊〜熱田の武豊線が整備されるなど、やはり知多半島は愛知県の玄関口だった。同40（1907）年に名古屋港が誕生。海外発展に欠かせない物流拠点として成長していく。

昭和13（1938）年
トヨタ自動車工業（株）拳母工場開業（現豊田市）
昭和14（1939）年
名古屋市港区に名港火力発電所完成
昭和15（1940）年
トヨタ自動車工業（株）が豊田製鋼（現愛知製鋼）を設立
昭和16（1941）年
太平洋戦争はじまる
戦艦大和竣工
昭和18（1943）年
川崎重工業（現川崎製鉄）が特殊鋼製造を目的に製鋼工場知多工場を設置
昭和20（1945）年
太平洋戦争終わる
国際連合成立
昭和21（1946）年
名古屋港国際港に指定
昭和22（1947）年
日本国憲法施行
昭和23（1948）年
正村竹二がパチンコの新しい釘配列を発明
昭和25（1950）年
朝鮮戦争はじまる
昭和26（1951）年
日米安全保障条約調印
米、世界最初の原子力発電に成功
中部日本放送が民間で初めてラジオ放送を開始
中部電力（株）発足
昭和27（1952）年
小牧飛行場（現県営名古屋空港）が開港
昭和30（1955）年
神武景氣を迎える
東京通信工業（現ソニー）、初のトランジスタラジオを発売
昭和31（1956）年
日本、国際連合に加盟
昭和32（1957）年
ソ連、世界初の人工衛星打上げ
名古屋駅〜栄町（現栄）駅間に市営地下鉄が開通

昭和35（1960）年
このころピアノ、ルームクーラー、マイカーが新三種の神器
昭和36（1961）年
松下電器産業、国産初の燃料電池を発表
名古屋鉄道（株）が日本初の2階運転台、前面展望車のパノラマカーをデビューさせる
昭和39（1964）年
東海製鉄（株）（現新日本製鉄（株））による中部初の普通鋼材を製鉄する高炉が名古屋市南部（現東海市）で操業開始
東海道新幹線開通
第18回東京オリンピック東京大会開催
昭和48（1973）年
第一次石油危機発生
昭和54（1979）年
第二次石油危機発生
昭和63（1988）年
わが国の自動車保有台数5000万台を突破

◎平成（1989年〜）
平成元（1989）年
名古屋市中で「世界デザイン博覧会」開催
平成6（1994）年
ノリタケカンパニーリミテドにより、日本版スペースシャトル「HOPPY」用の耐熱タイルが開発される
平成7（1995）年
阪神淡路大震災
平成9（1997）年
世界初の量産型ハイブリッドカー「プリウス」が発売、次世代自動車産業の大きな一歩
平成13（2001）年
日本の次期主力ロケット「H-IIAロケット」の打上げに成功
ETCの本格運用がスタート
アメリカ同時多発テロ発生
「産業観光サミット in 愛知名古屋」開催
平成17（2005）年
京都議定書発効
中部国際空港開港
万国博覧会「愛・地球博」開催

ものづくり王国を旅する

contents

元氣な中部の産業を観光しよう！ ようこそ。ものづくり王国へ。 赤崎まき子	ものづくり旅マップ 2	中部・ものづくりの源流 木・土・糸・鉄・水・道 4	中部のこれが日本一！ 10	さあでかけよう「ものづくり王国」の旅① 14	ものづくり名古屋のルーツを訪ねて 名古屋城 徳川美術館 白壁・権木界隈 ノリタケの森 トヨタテクノミュージアム産業技術記念館	さあでかけよう「ものづくり王国」の旅② 32	豊かな風土が育んだ、 ここだけの「うまいもん」 豊饒の海からの贈り物 郷土の野菜はスローフードの原点 「オリジナルな食」を支える醸造文化 抹茶と和菓子文化 名古屋グルメ大人版 ベスト8	さあでかけよう「ものづくり王国」の旅③ 42	日本最強のやきもの王国を行く 美濃・瀬戸・常滑	座談会 56	地域再生とまちづくり。産業観光は「地域革命だ」！ 島田紀彦 福井昌平 山本勝子 若山滋 赤崎まき子
---	-------------	---------------------------	---------------	------------------------	--	------------------------	--	------------------------	----------------------------	--------	--

山車とからくりに出会う インタビュ 世界最先端をいくー自律型知能ロボットの開発 福田敏男	さあでかけよう「ものづくり王国」の旅④ 70	豊田トヨタものづくりのDNAをたどる クルマの街のスローツーリズム 小原・下山・足助	さあでかけよう「ものづくり王国」の旅⑤ 82	足をのばして 大山・明治村 江戸時代を、明治時代を歩く旅 美濃 飛騨高山 白川郷 浜松 「うだつ」の上がる町並みと美濃和紙のふること 春と秋、祭り一色に染まる小京都 日本の原風景、世界遺産・白川郷 音楽の町・楽器の町、浜松	こんなものもつけた！ ミュージアムグッズ&名古屋みやげ	今、「産業観光」が動き出している 産業観光の展望 須田寛	産業観光施設データ	地域マップ	名古屋近郊 名古屋近郊 東海エリア	「産業観光」と「産業遺産」がわかる本 読者プレゼント&アンケート
--	------------------------	---	------------------------	---	--------------------------------	---------------------------------	-----------	-------	-------------------------	-------------------------------------



工業

“ものづくり王国”だけあって、自動車産業をはじめ、製造業の日本一が目白押し。



製造品出荷額は総額39兆円を超え、29年連続で愛知県がトップ。また名古屋港と三河港は、貨物量や扱い金額などで日本一を誇る。

分野別でも、自動車産業系はもちろんのこと、家電や衣料、機械など、実に多くの日本一を生み出している。古くからの工業の土壌に加えて、高い技術力の優良メーカーが育っているからだろう。

また工業の敷地面積・建築面積ともに愛知県は1位。さすがものづくりの街だ。(平成18年現在)

製造品出荷額1位 愛知県 29年連続首位 39兆3786億円 シェア13.2%	外国貿易貨物量 年間輸出総額 貿易黒字1位 名古屋港 (愛知県名古屋市)	自動車輸入台数 輸入金額 輸出金額1位 三河港 (愛知県豊橋市)
--	---	---

品目別の製造品1位(愛知・岐阜・三重)

普通自動車、デジカメ、ガス機器、事務用機器、
磚子、ミシン、パチンコ台、カーエアコン、
繊維工業品、ヘリコプター、電動工具、点滅器、
車いす、エレベーター、鉄道車両、自動販売機、
高級インテリア、婦人用レインコート・革製衣服ほか

花卉 愛知県 (昭和35年以来連続)	電照菊 スプレー菊 観葉植物 愛知県田原市	キャベツ うずら卵 シソ 愛知県豊橋市
金魚 手乗り白文鳥 愛知県弥富市	サボテン 愛知県春日井市	てん茶 (抹茶専用の) 原料茶葉 愛知県西尾市
イチジク 愛知県 安城市・碧南市	フキ ペコロス (ミニタマネギ) 愛知県知多市	守口大根 愛知県扶桑町
ギンナン 愛知県稲沢市	業務用 からし 愛知県一宮市	

経済

“元氣なナゴヤ”といわれる経済好調
数字がその勢いの良さを証明。



愛知県の有効求人倍率は1.94倍で断トツ全国首位。三重県が3位、岐阜県も5位と東海3県ともベスト10にランクインする勢いだ。おかげで地価上昇率(商業地)では名古屋市の名駅が1位、上位10位中なんと8か所が名古屋市内。

経済の好調を反映して、製造業従業者数も1位。外国人雇用数も1位、それも2位の東京を大きく引き離していること。実は日本一の国際都市なのである。(平成16年現在)

有効求人倍率1位 愛知県 1.94倍 ※平成18年7月 愛知労働局	財政力指数1位 愛知県豊田市 1.86	外国人雇用数1位 愛知県 5万265人 ※平成18年 厚生労働省
地価上昇率1位 愛知県名古屋市 中村区名駅1・2 名古屋近鉄ビル ※平成18年1月1日 国土交通省	製造業 従業者数1位 愛知県 79万7000人	

農林水産業

実は屈指の農水県でもある愛知
肥沃な土地と水質の良さで日本一が並ぶ。



農業産出額は愛知県が3259億円
で全国トップ。また豊橋市が粗生産額
で全国1位のシェアを誇っている。

有名などころでは、三河の花弁、宇
宙にも行った弥富市の金魚、一色町
のウナギ養殖(市町村別)、田原市
の電照菊や観葉植物、春日井のサボ
テン、豊橋市のキャベツやうずら卵や
シソ、蒲郡のハウスミカン、一宮市のク
ロマツなどが、出荷量・生産額で日本
一に輝いている。三河湾から獲れる
水産物も、イカ、アナゴ、シャコ、アサリ
など日本一が多い。

市町村合併で岐阜県に日本一の
大型市、高山市が誕生した。なんと岐
阜県のほぼ北半分を占める超巨大市。
香川県よりも大きい。人口日本一の町、
愛知県三好町など中部には変わった
市町村日本一が多い。

暮らしに目を向けてみると、自動車
保有台数、3世帯同居率、ゴルフ練習
場打席数などの分野で愛知県が首
位を独走。安定した生活がうかがえる。

郷土

日本一の市町村多し。
暮らしの部門では
愛知の特色を反映した
日本一が。

中部のこれが日本一！

自動車産業を中心とする経済の好調がひととき注目される中部地方だが、
実は以前から「日本一」の多い土地柄なのだ。
あの有名な日本一から、知る人ぞ知る隠れた日本一まで、
中部のお国自慢を総ざらいしてみよう。

歴史

三英傑を生み出した地だけあって、
中部には歴史分野でも隠れた日本一が。

江戸期に大名を最も多く出した
のが愛知県。信長・秀吉・家
康の天下人の地だから当然だが、
実に殿様の8割のルーツは愛知。
また愛知県犬山市の犬山城は、
日本最古のお城として国宝に指
定されている。

戦国時代に目を向けてみると、
戦国大名を一番多く生み出し
ているのは、愛知県美和町。蜂
須賀小六や福島正則など総勢
7人がこの地の出身だ。



日本(世界)最大の マネキン ナナちゃん (身長610cm、B215cm、 W180cm、H215cmの) ナイスボディ)	日本一大規模な 免税店 セントレア デューティーフリー (中部国際空港)	飼育動物の種類 日本一 東山動物園 558種 愛知県名古屋市
日本一の高低差・ 路線長・角度・速度 のジェットコースター スチールドラゴン (ナガシマスパーランド)	露天風呂数日本一 奥飛騨温泉郷 約170湯 岐阜県	

※スチールドラゴンは事故で休止中だったが、H18年9/2より運転再開。世界一からは脱落。
※ナナちゃんは平成19年3月まで改装中。

工芸品



製造業の礎となった伝統工芸の世界でも
中部には意外な日本一が多い。

陶磁器で1位の岐阜県、ろうそく、鍵・
錠前の三重県。石生産、三州瓦の愛知
県碧南市・高浜市、はけ・刷子では甚目
寺町、扇骨の大治町、水飴の美浜町、
和傘の岐阜県加納、毛筆の豊橋市など
が、今もトップシェアを維持している。

技術を極めると、やたらと巨大な物に
挑戦したくなるのも工芸文化の特色か
もしれない。高浜市では陶製観音(身長
8m)や巨大瓦製鯉(高3.3m)、西尾市
は石製タヌキ(高3.7m)と石製天狗面(高
1.65m)などが、巨大工芸品として有名だ。

石 愛知県岡崎市	木魚 愛知県一宮市	雪駄 愛知県津島市	三州瓦 愛知県 碧南市・高浜市
陶磁製 干支置物 愛知県尾張旭市	毛筆 愛知県豊橋市	はけ・刷子 愛知県甚目寺町 (シェア7割)	扇骨 愛知県大治町
水飴 愛知県美浜町	陶磁器 岐阜県	和傘 岐阜県加納	ろうそく 三重県亀山市
		鍵・錠 三重県 (玉城町・伊勢市)	

街

高層ビル、百貨店など
建設ラッシュが続く、
激変する名古屋の街。
日本一も続々。



ラッシュの続く名古屋駅前高層
ビル街。245mと日本一高い駅ビル
としてギネスブックにも認定された
のがJRセントラルタワーズ。さらに
2m高いミッドランドスクエアは、日
本一高い屋外型展望台を持つビ
ルになる。また松坂屋本店は新南
館の完成で売場総面積日本一に
躍り出た。

道路が広いことで有名な名古屋
だが、やはり100m道路の総延
長は日本一。

高さ・延床面積1位 の駅ビル JRセントラル タワーズ (ギネス認定)	屋外型展望台の 高さ1位 ミッドランド スクエア	売場総面積1位 松坂屋本店 8万6747m ²	100m道路総延長1位 若宮大通 +久屋大通
---	---	---	--------------------------------------

観光・名物

空港、動物園、遊園地。中部には
レジャー部門の日本一も盛りだくさんだ。

名古屋駅の名鉄メルサ前には、日本一ビッグ
なマネキン・ナナちゃん。地元でも待ち合わせの
ランドマークとして活躍している。

中部国際空港には、日本一大規模な免税店
デューティーフリーが。

観光施設では、動物の種類日本一を誇り、多
産と長寿日本一の多さでも知られる東山動物園。
岐阜へ目を向ければ、日本一の露天風呂数を
誇る奥飛騨温泉郷。三重では、ナガシマスパー
ランドの高低差と路線長日本一のジェットコース
ター・スチールドラゴンが待っている。



ものづくり名古屋の ルーツを訪ねて

始まりは、名古屋城。

お決まりといわれるかもしれないが、まずは名古屋城へ行こう。大阪城、熊本城と並ぶ日本三名城の一つだ。シンボルは金のシヤチホコ。そしてせっかく行くのだからその生い立ちを頭に入りたい。名古屋城の歴史を知れば、家康の遠大な計画が見えてくる。

関ヶ原の合戦後、天下の完全制覇をめざした徳川家康は、西国への守りを固めるため東海道の要地を一族で抑え、第九子義直を清洲城に移して尾張国を与えた。しかし、清洲城では守りに弱いと、慶長15（1610）年、名古屋城の築城に着手する。その頃の名古屋は「那古野」と呼ばれ、かつての織田氏の居城であり織田信長がここで生まれたという那古野城が廃墟となった荒野原だった。

家康は、「お手伝い普請」と称して、加藤清正、黒田長政ら西国大名を名古屋城造

今、ダイナミックに街の表情を変える名古屋。

日本一元気な街の素顔にふれるなら、

合言葉は「ものづくり」。

時代、時代に刻まれたものづくりの足跡をたどれば、

ひと味ちがった名古屋の顔が見えてくる。

名古屋駅から5km圏内、

気軽に行けるものづくりゆかりの場所を訪ねてみよう。

西国大名が残したもの

名古屋城築城を担当した20名の西国大名たち。各藩は、どの部分の石垣を担当するかを記した丁場割にのっとって仕事をすすめた。そして自分の運んだ石と他大名を区別するために刻印を彫って目印とした。今でも名古屋城の石垣にはその刻印が残り、保存されている丁場割と照らし合わせれば、どの藩の刻印が見当がつくという。



data

愛知県名古屋市中区本丸1-1

☎ 052-231-1700

営業 9:00~16:30

休 12月29日~1月1日

料 500円

MAP P109 C2

尾張名古屋は城でもつ

名古屋城は昭和20（1945）年太平洋戦争の空襲で焼失。昭和34（1959）年名古屋市制70周年に市民の熱い思いがかなって再建された。シンボルである金鯱も、大阪造幣局で復元され、一対に使用された金の重量は88kgだという。戦災を免れた三つの隅櫓（西北、西南、東南）と三つの門（表二之門、旧二之丸東二之門、二之丸大手二之門）は国の重要文化財。



壮麗極めた本丸御殿

名古屋城の本丸御殿は、狩野派の絵師により描かれた障壁画に彩られ、欄間や飾り金具など、建築美術、美術工芸の粋を集めた華麗なものだった。空襲により本丸御殿は焼失したが、障壁画の多くは事前に取り外されていたため難を逃れ、貴重な文化財となっている。名古屋市は名古屋城築城開始400年の2010年をめざして、本丸御殿の復元に動き出した。



竹林豹虎図

尾張徳川家の伝統に出会う 徳川美術館

威厳の表道具・優雅な奥道具

閑静な住宅地の中に、どっしりと構える「黒門」をくぐると、正面に徳川美術館、左に大名庭園のある徳川園、右手に蓬左文庫が静かなたたずまいを見せている。

徳川美術館で訪れる人をまず迎えるのは「具足飾」。正月に、書院に甲冑を飾り旗幟を立てて祝う大名家の年中行事の一つだ。鈍い光を放ち、見る者を一気に武家の世界へ引き込んでいく。贅を尽くした甲冑、刀剣「正宗」、武士の魂でもある武具類は「表道具」と呼ばれ、大名がその家格に応じて備えなくてはならないものの一つだ。だから、ここにあるのは「さすが徳川家」という名品ばかり。

歩を進めると、舞台が一転するかのよう
に現れるのが、大名が茶の湯をたしなんだ茶室、きらびやかな広間、慶事に演じられた能舞台……。江戸時代から大切な御道具として保管されてきた徳川家の品々が、展示ケースの中だけに並ぶのではなく、かつて用いられていた場所——復元した名古屋城二の丸御殿の中に置かれて、その素晴らしさを伝えている。これが徳川美術館の大きな見どころだ。御道具一つ一つの美しさ

が、その空間に置かれることで、いっそう映えている。

「表道具」に対して、大名とその家族の私的な生活を彩る品々が「奥道具」。着物、装身具、鏡台や化粧箱、絵巻物。大名家の暮らしの中にあつた、ため息がでるほど上品で美しいものとの出会いを楽しみに訪れる人も多い。そして、姫君たちも読んだであろう「国宝源氏物語絵巻」。原本の展示はきわめて制限されているが、いつでも楽しめるように、複製・映像で展示された一室も見逃せない。

守り抜かれたコレクション

そもそも徳川美術館は、第19代侯爵徳川義親氏が代々尾張徳川家に伝えられた重宝を、個人資産ではなく、徳川黎明会という財団を創立してそこに寄付をする形でそっくり後世に残そうとしたことに始まる。明治維新、戦争を通じて各大名家の道具がほとんど散逸してしまったなか、徳川美術館の収蔵品が大名道具のコレクションとして唯一まとまった存在となった背景には、この義親氏の先見性があった。

江戸藩政時代から400年、尾張徳川家の大名道具はさまざまな人に守られ、現代の私たちに「大名」とはどんな存在だったのかを語りかけている。



尾張徳川家二代藩主光友に嫁いだ千代姫の黄金の嫁入り道具のひとつ。



「具足飾」が威厳を放つ徳川美術館第1展示室



お姫様気分で「尾張徳川 春姫御膳」

尾張や春姫の故郷紀州の名産品が盛り込まれた三段重ねの「春姫御膳」。造形作家夢重由里さんプロデュースで老舗の八百屋本店が協力。お膳の絵柄も春姫愛用の筥にある模様を生かしたオリジナル。お食事代の一部は名古屋城本丸御殿再建の基金に。



貝合わせをつくる子どもたち。大名文化を楽しく理解できるように子ども向けワークショップ「土曜子ども教室」(毎週土曜日)や「夏休み子ども特別企画」(8月中毎日)を実施。

ボランティア、奮闘する

徳川美術館はボランティアのさきがけだ。「徳川美術館ボランティアの会」の発足は昭和62(1987)年。展示解説から裏方まで約280名が参加している。見学者に笑顔で声をかけるメンバーたち。今や美術館に欠かせない存在になった。「長い年月の中で、これだけのものを後世に残そうとした人々の思い、意志に着かれます。だからこそ、私もお手伝いしたい」と、ベテランボランティア永井千里さん。

data

徳川美術館
愛知県名古屋市東区徳川町1017
☎ 052-935-6262
営 10:00~17:00
休 月曜日(休日の場合は翌日) 12月中旬~年始
料 1200円
MAP P109 D-2



見ごたえある蓬左文庫

蓬左文庫の始まりは、尾張藩の書物庫である「御文庫」。家康の死後「駿河御膳本」と呼ばれる蔵書が尾張家に贈られ、歴代藩主の収集した書物が加わり、屈指の大名文庫となった。明治維新後、尾張徳川家の蔵書として保管され、徳川義親氏によって「蓬左文庫」と名づけられた。「蓬左」とは名古屋城の別名。昭和25年、名古屋市に移管され一般公開が始まった。現在の蔵書数は約11万点。徳川美術館と合わせて訪れれば、名古屋の歴史文化への思いがさらに深まる。

data

蓬左文庫
愛知県名古屋市東区徳川町1001
☎ 052-935-2173
営 9:30~17:00、展示室10:00~17:00
休 月曜日(休日の場合は翌日) 年末年始
料 閲覧室 無料、展示室 有料
MAP P109 D-2



「文化のみち」を歩こう

名古屋市は、名古屋城から白壁・榎木、徳川園に至る一帯を「文化のみち」と名づけ、保存と整備に取り組んでいる。一帯には近代建築物や、日本の近代産業を担った人々ゆかりの場所が残り、名古屋の歴史と文化を知るさまざまな物語に出会う。「文化のみち二葉館（旧川上貞奴邸）」はその拠点施設。文化のみちのおすすめルートなどさまざまな情報を提供している。

data

文化のみち二葉館
(名古屋市旧川上貞奴邸)
愛知県名古屋市東区榎木町3-23
☎ 052-936-3836
営 10:00~17:00
休 月曜日(祝日の場合は翌日)
料 200円
MAP P109 D-2



福沢桃介と貞奴



名古屋陶磁器会館展示室

Made in NAGOYAの 陶磁器に出会う

名古屋陶磁器会館は、名古屋陶磁器貿易商同業組合の事務所、交流の場として昭和7年に建設された。館内はアールデコ調で、当時の業界の華やかな雰囲気を感じる。1階ギャラリ―には、かつて輸出されたMade in NAGOYAの数々の陶磁器製品が並んでいる。

data

名古屋陶磁器会館
愛知県名古屋市東区徳川1-10-3
☎ 052-935-7841
営 9:00~17:00
休 土・日曜日 祝日
料 無料
MAP P109 D-2



訪れる人が感嘆の声をあげる広間。貞奴のデザインがすみずみまで取り入れられている。

電力王と女優・貞奴の面影を追う

白壁・榎木界限

数奇な変遷をたどった武家屋敷

時代は明治へ。職を失った武士たちが生き残りをかけて、新しい時代に立ち向かっていく。そんな激動のなかで、尾張藩中級武士の屋敷町から、輸出向け陶磁器業の日本の中心地となり、さらに名だたる実業化たちが屋敷を構える町へと、数奇な変遷をたどった界限がある。名古屋城の東、現在の名古屋市中区白壁・榎木町周辺だ。

閑静な住宅街となった現在の白壁周辺からは想像もできないが、明治中頃のこのあたりは、瀬戸や多治見から磁器の素地を仕入れて絵付けを施す作業場が集まり、活気づいていた。明治29(1896)年には、東京からやってきた森村市左衛門―高級洋食器メーカー・ノリタケの創設者―が、榎木町に全国から絵付け師を集め本格的な絵付け事業を開始。広い武家屋敷は作業場に変わり、やきものの産地から次々と素地が運ばれ、高まる輸出にこたえて、当時名古屋の物資運搬の大動脈だった堀川に荷を集めてハシケ船で港へ。そんな光景が繰り返されていったのだ。

活気づく場所に惹かれてか、ものづくりで、やがて世界にはばたく人々がここに屋敷を構え始める。トヨタグループの創始者、豊田佐吉、弟佐助、娘婿の利三郎。ノリタケの創設者森村市左衛門。福沢桃介と川上貞奴。そうそうたる顔ぶれた。

贅を尽くした「二葉御殿」

今、白壁・榎木界限を歩けば、そこに時代の足跡を見ることが出来る。江戸時代の武家屋敷の面影、豊田佐助邸など実業家の邸宅、なかでも一際目をひくのが「文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)」だ。

電力事業で近代産業の発展に貢献した福沢桃介。パリ万博で活躍し女優としての名声を得た貞奴。二人が暮らした邸宅は大正9年頃の完成で、「二葉御殿」と呼ばれるほど贅を尽くしたものだ。庭には電気仕掛けの噴水やサーチライト、各部屋には呼び出しコール、さらに自家発電施設まで備え、屋敷はさながら電力王のモデルルームのように、当時の最先端設備を試みていたという。

赤い瓦屋根、華やかなステンドグラスの広間、国の文化財として登録された創建当初のままの和室。平成の時代に名古屋市によって移築復元された貞奴邸は、変わらぬ華やかさと、すみずみに施された職人の技で訪れる人を驚かせる。

ここに中部の政財界人を招き、桃介とともににぎやかにゲストを迎える貞奴がいた。ものづくりに賭ける人々が動き出した名古屋の、華やかなシーンがあったのだ。

洋食器だけじゃないノリタケを知る
「えー、ノリタケってこんなこともしているの」と声が上がると、ノリタケの森の密かな見どころが「CELABO」。

研削・研磨のトップメーカーとしてものづくりを陰で支え、セラミックスという可能性を秘めた素材の開発が家電製品、車、航空宇宙など新領域と結びつく。もう一つのノリタケの顔をPRするショールームだ。生活文化と新たな産業を切り拓くノリタケの最先端の技術を見ることができる。



ゆったりランチは、味も本格派

緑に囲まれ、やわらかな光が差し込むノリタケの森の「レストランキルン」。盛付けされるのは、もちろんノリタケの洋食器。優雅なテーブルセッティングを、わが家の参考にしてみては。ランチコースが2100円で楽しめる。



日本最初の
ディナーセット
「セダン」



優美なボーンチャイナ製品が形になるまでを間近で見られるクラブ
トセンター

食卓が楽しくなるグッズを取り揃えた
ライフスタイルショップ パレット



赤レンガ造りの建物は明治37年に建設された
日本陶器合名会社の最初の工場。昭和50年まで稼働していた。



発祥の地に込められた熱い思い ノリタケの森

名古屋栄にテレビ塔ができるまでは名古屋城に次ぐ高さを誇った6本の巨大煙突が、
今、モニュメントとなってノリタケの歴史を語り継ぐ。



日本近代陶業の始まり

名古屋駅の超高層のビル群と煉瓦づくりのモニュメント、不思議な取り合わせに、思わず写真を撮りたくなるこの場所は、ノリタケカンパニーリミテッドが創業100周年を記念してつくった「ノリタケの森」だ。都心でありながら広々とした緑と空が広がり、気持ちのいい時間が流れていく。

ノリタケの創設者森村市左衛門は、バリ万博で目にした白色の美しい磁器を日本でも製造したいと願い、明治37(1904)年に日本陶器合名会社を設立。ヨーロッパの先進技術を取り入れた製陶工場を則武(名古屋市区)に建設する。その記念すべき場所が、まさにここ。

ノリタケの森は、ノリタケの発祥の地であり、日本の近代陶業が第一歩を踏み出した場所なのだ。

記憶を受け継ぎ、未来へつなぐ

かつてここには食器工場があり、長さ45mの6本の煙突がそびえていた。大正3(1914)年、日本初のディナーセット「セダン」が誕生。それに続いて次々と世界の、日本の食卓を飾る洋食器を生産してきたこの地は、ノリタケのものづくりの歴史そのものだ。しかし昭和50年代に入ると生産工場が九州や海外に移りはじめ、ノリタケ発祥の地は食器製造の場から少しずつ遠ざかっていった。

使われなくなった工場。けれども時代、時代の役割を担って一生懸命働いてきたものばかり。それを生かす道はないのか。ノリタケの森はそんな思いから生まれた。

だから、緑の中に建つ施設はすべて既存の建物を生かし、巨大な煙突跡もモニュメントに、食器工場の跡地から掘り出された古煉瓦も「窯壁」として新しい役割が与えられた。

ノリタケの森では、ゆつくりと過ごしたい。子どもたちと絵付けに挑戦したり、優雅なオールドノリタケをミュージアムで鑑賞するのでもいい。アウトレットショップでちょっとお値打ちにノリタケの食器を手に入れるのも楽しみの一つだ。でも、ふと立ち止まって回りを眺めて思い出してほしい。ここが、新しいものづくりを夢見て苦闘し、日本の近代陶業の歴史とともに歩んできたことを。

ノリタケの森は、その記憶を静かに未来へ語り継いでいる。

data

ノリタケの森
愛知県名古屋市区則武新町3-1-36
☎ 052-561-7290
🕒 10:00~18:00
(クラフトセンター・キャンパスは17:00まで)
(レストランキルンは21:00まで)
🗓 月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始・夏季休業あり
🎫 500円(クラフトセンターのみ)
ノリタケの森は入場無料
産業技術記念館との共通入場券あり
MAP | P109 C-2

進化するものづくりの底力

トヨタテクノミュージアム産業技術記念館

機械が動き、迫力が伝わる

今やその技術力と堅実な企業経営で世界のトップ企業に名を連ねるトヨタグループ各社。それぞれの企業の歴史をさかのぼれば、一人の勤勉で研究熱心な人物に行き着く。「発明王」と呼ばれた豊田佐吉。最初の発明は、手織機で苦勞する母親を楽にさせたいと、改良に改良を重ねてつくり出した「豊田式木製人力織機」だった。

この佐吉から脈々と受け継がれてきたトヨタグループが真髄とする「モノづくり」を次世代に伝えるために設立されたのが、産業技術記念館だ。かつての豊田紡織本社工場、豊田自動車製作所（現豊田自動車工場）やトヨタ自動車工業（現トヨタ自動車）の設立総会も開かれた、まさにトヨタグループ発祥の地にある。

この魅力はなんといっても、日本のものづくりに貢献した本物の機械が動き、生産現場さながらの迫力を見せることだ。「豊田佐吉が木製の人力織機を発明しました」「豊田喜一郎が初めて国産車を完成させました」と本で読むのと、目の前に本物が現れるのでは、感動がちがう。

進化し続けるものづくりの道

繊維機械館にシンボリックに置かれているのは、大正13（1924）年、世界最高性能の無停止杼換式豊田自動織機（G型）第一号機。佐吉は亡くなる一年前、世界から注目を集めたこのG型自動織機の特許を、当時世界最大の繊維機械メーカーだったイギリスのプラット社に売り、長男喜一郎に資金を提供した。欧米視察で「これからは自動車の時代」と実感した佐吉、その夢が喜一郎へバトンタッチされて、昭和12（1937）年トヨタ自動車工業が誕生する。

G型織機の発明があったからこそ生まれた新しいものづくり。まさにその機械の前に立てば、佐吉から喜一郎へ、繊維機械から自動車へ、途切れることのないものづくりの道に心がときめく。

自動車館では、トヨタ初の国産車「AA型乗用車」（1936）からトヨタハイブリッドシステムを搭載したプリウスまで、過去から現在、未来へとつながるクルマづくりが紹介されている。

展示はあくまでも楽しく、見て、ふれて、体験できるコーナーがあちこちに。「ソフィアさん」と呼ばれる女性が木製人力織機をカタコトと動かし、オペレーターがG型自動織機を集団運転させる。

外国人の見学者も増えているという産業技術記念館。世代を超え、言葉を超えて、人間の中にあるものづくりのロマンと楽しさと呼び起こしてくれる。



館内の実演で織られたタペストリーや人気のトヨタF1グッズなどがあるミュージアムショップ



迫力あるG型自動織機の集団運転の実演



館内の案内係「ソフィアさん」の実演

私たちがご案内します

産業技術記念館で機械を動かして説明してくれる「オペレーター」。実はトヨタグループ現役の技術者たちだ。「古い織機は操作にカンや熟練が必要です」と話すのは繊維機械館の磯崎純一さん。「子どもたちの反応がすごいです。わあーっという歓声を聞くたびに充実感を感じます」と目を細めるのは、金属加工の工程で鍛造の実演をする自動車館の上西俊久さん。生産現場から見学者の前に来たとまどいが、ものづくりを伝える喜びに変わって、日々笑顔でがんばっている。

data

トヨタテクノミュージアム
産業技術記念館
愛知県名古屋市西区
則武新町4-1-35
☎ 052-551-6115
営 9:30～17:00
休 月曜日
（祝日の場合は翌日）
年未年始
料 大人500円
ノリタケの森との
共通入場券あり
MAP P109 C-2



繊維機械館の磯崎純一さん



鍛造の実演をする上西俊久さん



トヨタ初の国産車トヨタAA型乗用車



愛知製鋼刈谷工場に残されていた試作工場の柱や梁、小屋組みなどを移築して、トヨタ初の試作車「A1型」のボデー試作風景を再現。



建物は赤レンガづくりの旧豊田紡織本社の工場を生かしている。

さあでかけよう「ものづくり王国」の旅①



旧東海道沿いに残る有松の町並み

有松

こんな名古屋も！

絞染に出会うまち

名古屋市緑区有松。江戸時代から続く絞間屋、なまこ壁の土蔵、格子戸の家並み…。浮世絵師歌川広重が東海道五十三次の中で描いた町並みが今も残るこの町は、伝統工芸有松・鳴海絞の産地として全国に知られている。

この町を訪れたら、まずは有松・鳴海絞会館へ。ここでは江戸時代から脈々と受け継がれている有松・鳴海絞の歴史と絞の実演を見ることが出来る。

有松・鳴海絞の特色は、くぐりの多様さとそれを引き立たせる繊細な染色技術だ。縫絞、三浦絞、蜘蛛絞、鹿の子絞と技法は百種にも及び、多彩な模様が表現される。そしてもう一つは、一人一技法で伝承されてきたこと。母から娘へその家の技法が代々受け継がれるのだ。そのため今では途絶えてしまう技法もあり、後継者の育成が大きな課題となっている。

絞会館で実演していたのは北野とよさんと荒川吐江さん。見学者の質問に気さくに答えながらも、決して手は休めず、規則正しく、くぐり続ける。北野さんは三浦絞で80年、荒川さんは目の出絞で60年、絞とともに歩んできたベテランだ。

すべてが手づくりの有松・鳴海絞。一粒一粒くぐった人の力加減が染め上がり、微妙な濃淡を生み出し、一つとして同じものはない。一枚の布、一反の反物に、人の手でしか生まれない技の美しさがある。その味わいを求めて町並みを歩き、お店をのぞいて、絞とともに歩いてきた有松の人々とのふれあいを楽しんでみたい。



歌川広重「東海道五十三次」 鳴海(行書東海道)
(資料協力:三菱東京UFJ銀行貨幣資料館)

有松・鳴海絞の歴史は…
慶長15(1610)年、名古屋城築城のためにやってきた豊後の大名から絞染の技法が伝えられ、この地の竹田庄九郎が有松絞として完成させた。以降、尾張藩の保護を受け地場産業として発展し、東海道を旅する人々のみやげ物として評判をよんだ。

data
有松・鳴海絞会館
愛知県名古屋市長区有松町橋東南60-1
☎ 052-621-0111
営業 9:30~17:00
実演は16:30まで
休 水曜日(祝日の場合は翌日)
MAP P112 E3



有松絞の浴衣地



子ども用Tシャツ。絞は
渋いばかりじゃない。

三浦絞をほどこした日傘は
北野さんの作品。



Y O R I

ちょっと寄り道 味めぐり

M I C H I

大名庭園を望みながら ガーデンレストラン 徳川園

徳川園にある話題のレストラン。尾張徳川家の別邸として受け継がれた伝統の場の雰囲気を生かし、格調高く、かつ、リラックスできる空間づくりで、大人の時間が楽しめる。料理は名古屋コーチン、知多の魚介など地場の素材をフレンチにアレンジ。本格的な大名庭園を眺めながらの食事は、都会の喧騒を忘れさせてくれる。

同敷地内の蘇山荘は、昭和12年に名古屋で開催された汎太平洋平和博覧会の迎賓会を移築した建物。午後のティータイム、夜のバーとして、それぞれの雰囲気が楽しめる。



data
愛知県名古屋市長区徳川町1001
☎ 052-932-7887
営業 [レストラン] 昼 11:00~14:00
夜 17:00~22:00
[蘇山荘] 昼 10:00~17:00
夜 19:00~24:00
休 不定休 MAP P109 D-2

こだわりの豆菓子 豆匠 豆福

戦前から豆菓子一筋で続く老舗の豆福。一本裏通りにある豆福本店だが、訪れる人は跡をたたない。その人気は商品の豊富さ。3つの大豆を艶やかな海苔で巻いた山海豆、シンプルな豆の味を楽しむ福豆など、お茶うけから酒の友、子どもからお年寄りまであらゆる層の心をつかむバリエーションがある。

大豆は軸振大豆を中心とする国内産のみ使用。素材が安全で甘くおいしいものを使うのが豆福の身上。社長の福谷正男さんは自ら生産農家を訪ね歩く。豆への愛情と誠実さがいっぱい詰まった豆菓子を、ぜひ味わってほしい。



data
愛知県名古屋市長区新道2-14-10
☎ 052-571-4057
営業 9:00~18:00
(7月1日~20日、12月は午後7時まで)
休 無休
MAP P109 C-2

わらびもちと言えば! 御菓子所 芳光

京都で和菓子づくりの修業をした後、名古屋の奥深い和菓子の伝統に気づいて自分好みの和菓子づくりに励んだご主人の島岡孝光さん。そして今や芳光の顔となったわらびもちを生み出す。

さっぱりとした甘みのこし餡を包むのは「力があって粘り気が強い」という三重県美杉村の蔵からつくるわらび粉。これを、美しい形を保ちながら、やさしく、とろけるような口溶け感にするのが腕の見せどころだ。厳選された材料でつくり出される季節の生菓子は、和菓子職人としてのこだわりを感じさせる。



data
愛知県名古屋市長区新出来1-9-1
☎ 052-931-4432
営業 9:00~18:00
休 日曜日 年始
市内配達、地方発送は不可
MAP P109 D-2

名古屋・栄にロボットが大集合! ロボットミュージアム in 名古屋

誰もがロボットに夢中になる都市型ミュージアムが2006年10月、名古屋・栄にオープンした。ロボットの進化をたどる「ロボットカルチャーミュージアム ROBOTHINK」はロボットを操縦したり、ロボットの基本構造を学ぶ工作教室など体験コーナーも充実。

世界最大級のロボットストア「ロボット未来デパートメント」では、世界初人型二足歩行ロボ「nuvo」(58万8000円)から、小さなオモチャロボまで、気に入ったロボットを買うことができる。

data
ロボットミュージアム in 名古屋
愛知県名古屋市長区錦3-25-20
☎ 0120-156-610
営業 ROBOTHINK
ロボット未来デパートメント
平日 11:00~19:00
土日祝 10:00~20:00
(施設により異なる)
休 第3水曜日(ROBOTHINKのみ)
料 1300円(ROBOTHINKのみ)
MAP P109 D-3



2006.10
NEW!!

産業観光バス、発車します。

名古屋発でさまざまな産業観光施設をめぐる「産業観光バス」の運行が2006年10月から始まった。日帰り定期観光バスツアーで、名古屋のものづくりを巡るコースや八丁味噌蔵見学など週替わりのコースが設定されている。ガイドと昼食つき。手軽に産業観光を楽しむにはもってこいだ。



名鉄観光サービス(株)提供

名鉄観光サービス株式会社中部旅行センター
出発 毎週火曜日 料 6000円 問合せ/052-561-8051
名阪近鉄旅行(株)ツアーセンター
出発 毎週水曜日 料 6500円 問合せ/052-563-7500

戦う女性 は魅力的

対談 尾張徳川の姫君たち

夢童 由里子

造形作家 愛知工業大学客員教授

山本 泰一

財団法人徳川黎明会 徳川美術館副館長



早春、徳川美術館で毎年公開される姫君たちの雛人形展は、名古屋の風物詩。そして国宝「初音の調度」に代表される奥道具の数々、精緻で豪華なその迫力に、だれもがため息をつかずにはいられません。そこでわいてくるのが、「尾張徳川の姫君ってどんな人たち？」という素朴な疑問。それに答えていただくべく、夢童由里子さんと山本泰一さんにお話をさせていただきました。

パワーポリテクスの時代を生きた姫たち



夢童 そもそも「姫君」とは、どういう人を言うのでしょうか。

山本 一般的には、大名家の女性たちといえは間違いないでしょうね。正妻から生まれた人も、側室から生まれた人も「姫」。小さな家の場合には、正妻に限ることもあったようです。「君」はお公家さん系統の称号。將軍の娘は特別に「姫君」と言いました。

夢童さんは、「名古屋城の本丸御殿復元」の市民プロジェクトを設立し、初代尾張徳川藩主の徳川義直に嫁いだ「春姫」をシンボルに「春姫道中」をつくられましたね。なぜ春姫だったんですか。

夢童 春姫様に名を借りて、私たちは名古屋の文化興しをしようとしています。

「奥」をちゃんと扱う。だから女性は強かった。逆に言うと、戦国時代には、女性のしっかりしているところが伸びてきたんじゃないですか。

夢童 有事の際には知恵を働かせて、夫婦愛、人間愛で男性を支えてきたんですね。

山本 生活を共にしているという実感が、興隆期にはパワーを発揮したんでしょう。

夢童 義直は儒教的な精神が高く、謹厳実直で、すごく家庭を大事にした。こういう基盤が名古屋という土地に今でもDNAとして生きているのではないかと思うくらい。そして名君でした。義直がどれほど新田開発をしたことか。

山本 そうですね。犬山の入鹿池は日本で、二の規模の農業用水ですが、もとは義直が木曾川の南の土地を開発するために灌漑用水としてつくった池です。

夢童 竹田庄九郎らによって誕生した有松絞も、義直が尾張徳川藩の殖産事業として奨励したから繁栄した。

山本 瀬戸物も、義直が東濃地方に離散していた瀬戸の陶工たちを呼び戻し、藩のご用窯として保護を加えることで一大産地にしたんですから。

夢童 でも、そんな義直を支えてきた春姫には子どもがでなかったんです。あの時代、世継が産めないなんて、どんなに辛かっただろうと思うの。

山本 当時の常識からいうと、正妻一人で後継ぎをなんて考え方は毛頭ないんだけど、義直は儒教を重んじていたから、側



内裏飾り 所蔵：徳川美術館



春姫道中
夢童さんが設立した名古屋城本丸御殿の復元をめざす市民団体「本丸御殿フォーラム」が、そのアピールとして1994年から行っているイベント。春姫、女武者、腰元、侍などが、古式ゆかしい隊列で練り広げる平成の時代絵巻。



春姫の愛琴
琴（銘 小町）
高原院春姫（尾張初代義直夫人）所用（15世紀）
所蔵：徳川美術館



義直と春姫
夫婦で尾張の国づくり

夢童 春姫は13歳で尾張徳川家という、まだ海のものとも山のものともわからないところに嫁いで来て、夫婦で国をつくり上げていった。「一緒にがんばろう！」みたいなところが、いとおしく思えるの。

山本 当時は、女性がしっかりしていなければ家が成り立たない時代です。家康だって、側室に経済的な管理をさせていたんですから。自分の依るべき基盤がしっかりしていなければ、外へ出て行けない。テレビドラマみたいに、政治をしている男のそばに女性があるなんてことはあり得ないけれど、

対談 尾張徳川の姫君たち



「春姫道中」の主演、春姫様。一般公募で選ばれる。

【対談】尾張徳川の姫君たち

26

室を持つのを嫌がった。結局は藩を潰さな
ために側室を二人もらい、跡継ぎの光友
をもうけたんですけれど。

夢童 光友の生母「お尉の方」は、百姓の
娘で、御湯殿係で城に上がりました。

山本 義直は、何年も自分の子と認めな
かった。

夢童 春姫に愛情があったというか？。

山本 遠慮があったというか。

夢童 自分が産んでない子を息子として
認め育てた春姫様の気持ち。跡継ぎにはな
らない女の子しか生めなかった「おさいの方」、
子どもを産むただけにお城に上がった「お
尉の方」。藩主一人をめぐって、三者三様の
切なくもたくましい生き方に、ドラマを感じ
ますね。いろいろ調べていくと、あの時代
の姫君たちの表には出てこない強さや、意
地や、優しさなど、考えさせられるものが
多くあります。

みごとにファミリーを
つくった千代姫君

夢童 山本さんの心に残る姫君はどなた
ですか？

山本 やはり二代光友の正室、千代姫君
でしょうね。なんといっても尾張徳川家の
基盤をつくった人です。数え年3歳で尾張
徳川家二代光友に嫁し、光友との間に二男
二女をもうけ、長男の綱誠は三代藩主の
座に就いている。正室でただ一人、後に藩主
となる人を産んだ人。三代將軍家光の長
女でもあり、バワフルですよ。

夢童 先の將軍の娘で、現將軍の姉です
から、いざとなったら自分が將軍を引き受け
てもいいというほどの見識をもっていた。だ
からというか、すこくわがままなイメージ
があるんですが、どうですか？

山本 うーん。確かにわがままだとか尊大



初音の調度(国宝)

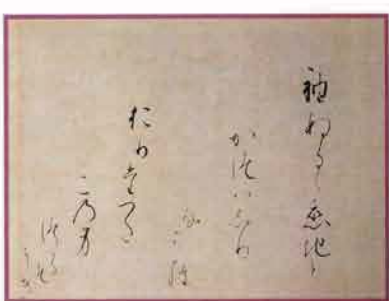
千代姫の婚礼調度。金銀の蒔絵で華麗に装飾された日本を代表する漆工芸品。千代姫の誕生以前から、名工により製作が始まっていたという。

伝狩野山楽筆 四季花鳥図屏風六曲一双／初音蒔絵貝桶／初音蒔絵黒桐飾り／初音蒔絵書棚(17世紀) 所蔵:徳川美術館



すからね。

山本 そうです。軍事に使っていた資金を
河川改修、新田づくりなどのインフラ整備
に使えるようになった。その財力をもつて、
姫君の調度をつくった。蒔絵の調度は、幕府
お抱かえの蒔絵師、幸阿弥長重によつてつ
くられたんですが、蒔絵はヨーロッパでは
Japanと呼ばれていますからね。日本
を代表するものが婚礼調度として残ってい



千代姫の書

夫の光友の手本によって書を学んだといわれ、筆跡
鑑定で古筆見ても区別がつけ難かったといわれる。
豊仙院千代姫(尾張徳川家2代光友夫人)

筆 源氏物語抜書(17世紀)
所蔵:徳川美術館

個性的な女性の生き方に
魅かれる



夢童 でもねえ、和歌山から名古屋までの
春姫の婚礼行列も、それはみごとだったん
ですよ。名古屋城の櫓上で行列を見ていた家
康が義直の生母「お亀の方」と褒めたとい
う、十数町歩に及ぶ行列。その婚礼道具が
残っていないのが残念です。でも書が残って
いて、江戸までの旅を記録した「高原院様
道の記」を見ると、やはり理知的な女性だ
ったんだなあと思います。

山本 そうですね。姫君たちはかなりの教
養人でした。手習い、絵画、和歌、学問など
や舞、琴、茶、香といった芸能、太刀や弓、乗
馬といった武芸も極める必要があったし、手
芸も身につけていたようです。

戦う女性
は魅力的



夢童 由里子さん ●造形作家・アートプロデューサー。大掛かり
なコンピュータ制御のからくりモノメント、野外彫刻、レリーフ
など作品は多岐にわたる。1994年、市民ボランティア「本
丸御殿フォーラム」(現在会員1800人)を立ち上げ、名古屋
城本丸御殿復元の火付け役となった。春姫道中、匠フォーラ
ム、本丸瓦版など多彩な企画をプロジェクトし、まちおこし文
化おこし、産業観光おこし、伝統技術の継承、木の文化再発見
など、幅広い運動へと展開している。可憐な風貌ながら、まさに
「戦う女性」。著書に「尾張徳川をんなの群像」ほか。

だとかいう話もありますが、字なんかを見
ると非常にきれいだしうまいしね、教養を
積んでいます。それに、光友との間に世継
ぎが誕生して、世の中の安定にすこく寄与
している。そういった意味では、すごい姫君
ですよ。

夢童 みごとにファミリーをつくって。そして
何といつても「初音の調度」で知られる豪華
な婚礼調度。それが今も残されていること
からも、彼女は確かに生きていたというのが
共有できる。本当に素晴らしいと思います。

山本 具体的な物があると、当時の有様が
目に浮かびますからね。しかも、江戸時代
を通じて最も豊かな経済状態にあった幕府
が威信をかけてつくり上げた調度品です。

夢童 だれとも戦わずして、生まれながら
將軍になった当時の家光の権力はすごいで

しかし江戸時代半ば過ぎになると、本
当にお飾りになってしまった。元禄以降、女
性は完全に奥に入ってしまった。暮らしぶり
もわかっているようで、あまりわからない。
正夫人から子どもが生まれることも減多
くなる。將軍家も同じで、大奥も女性
だけのテリトリーになって本来の目的から
逸脱していったんでしょうね。

夢童 江戸初期の姫君たちとは心の中の
スケール感が違うような。現代の女性たち
は、ちよつと揶揄的に「名古屋嬢」なんて言
われて、ぬるいかもしれないなあ。

山本 江戸初期の姫君たちは、かなり個
性的で魅力的ですよ。今の女性は、みん
なと同じブランドの物を持たないと不安だ
とかね、何か根無し草のようなね。

夢童 ところで山本さん、言うなれば、私
は春姫派、山本さんは千代姫派。でも、も
し春姫のお道具が残っていたらどうですか？
春姫派にならない？

山本 アハハッ(笑)。変わるかもしれませんが
ね。尾張徳川家初代の姫君という意味でね。



山本 泰一さん ●財団法人徳川黎明会 徳川美術館副館長

対談 尾張徳川の姫君たち



合具

俊精院御器(尾張11代齊光御人)
所用(19世紀) 所蔵:徳川美術館

三英傑とものづくり

信長、秀吉、家康が今の名古屋に残したもの

安田文吉(南山大学人文学部日本文化学科教授)

城造りともものづくり

永年の懸案だった名古屋城本丸御殿の復元がようやく始まった。

平成18年8月22日、木曾の上松町で最初の斧入れ式があった。お目当ての樹齢300年高さ30mの本曾檜の銘木に斧が入れると、谷から吹き上げる風に乗って檜の馥郁とした香りが漂ってきた。

年輪は細かく、この木の成長の苦労が偲ばれると柚人の謂。慶長14(1609)年から同19年にかけて造られた名古屋城天守閣・本丸御殿もこのような銘木が使われていた。

三英傑の主な城造りでは、織田信長は清洲城・安土城、豊臣秀吉は墨俣の一夜城(尤もこれは砦の如き物か?)・長浜城・大坂城、徳川家康は名古屋城などがあるが、安土城・一夜城などは個性溢れる城ともいえよう。城は天守閣と本丸御殿・二の丸御殿、さらに庭園などからなり、天守閣は見張り櫓、本丸御殿は客殿、二の丸御殿は日常用などと、それぞれ目的に沿った造られ方をしている。これらの造作には当時最高の職人技が用いられた。

お城を造るには多種多様な職人技と材料が要る。礎石や石垣に使う石から建物に使う材木、襖や障子に使う紙、その他扉や釘隠などの金具、壁土や漆喰、瓦などなど。そしてこれらを巧みに加工していく職人の技。城を造る大工は宮大工、襖は表具師、壁は左官屋、さらに、それら職人の使う、鋸・鉋・鑿などの道具を作ったり修理したりする職人技も。城造りは多用なもののづくりの技術を磨き上げた。名古屋では、桶屋の倅が堀川までつくってしまった。福島正則のこと。堀川開鑿には、水を漏らさぬ木桶づくりの技が必要だった。

茶の湯文化と三英傑

そうして、その城の中の豪華な生活が、武将としての武具は勿論、調度品や日常の衣裳や道具、教養としての嗜み(たぐひ)にまで、粹をこらした技術が極められた。例えば、茶道への執心。織田信長は、永禄11(1568)年の堺を接収後、今井宗久・津田宗及・千利休の三人を茶頭として茶会や茶道具にかかわらせた。

信長の弟有楽斎は有楽流茶道を興している。秀吉は信長の武将として茶の湯を行うようになったが、後には大坂城内に黄金の茶室と山里の草庵茶室を設け、また、貴賤を問わない北野大茶湯を催して、茶の湯の底辺を広げた。

家康は駿府に隠居してから、茶の湯に関心をもち、古田織部や小堀遠州を重用、没後御三家に振り分けた「駿府御分物御道具帳」には茶器の名品が並んでいる。こうした三英傑の茶道に対する関心は、茶道具としての、茶碗や茶入れなどの焼き物、棗や盆・棚などの塗り物、茶筌・扇などの竹製品、また茶室といった建造物、畳や障子といった内装、床飾りの軸や花入れといった装飾品など、多方面に繊細で精緻な職人技を生み出した。さらには、お茶・お菓子、点心などといった食の面でも、職人技を磨き上げた。

名古屋には今もその伝統を受け継いだ職人技が多く伝わっている。名古屋仏具・仏壇・木桶、七宝・桐箆筒、有松絞、名古屋友禅、履き物・鼻緒、名古屋扇子、名古屋黒紋付染め、和蠟燭、提灯、節句人形、そして常滑焼、瀬戸物などなど。

受け継がれるものづくりの伝統

名古屋城本丸御殿の復元は始まったばかりだ。名古屋城については、昭和7(1932)年から12(1937)年にかけて行われた実測調査による109枚の実測図があり、ガラス乾板写真も1100枚ある上、襖絵の大半は現存している。これらを基に職人技を駆使すれば、日本一精密な本丸御殿の復元ができる。それによつて、ものづくりの技を後世に伝承できる。三英傑のつくり上げたものづくりの伝統は、ものをつくり、残すことで、未来への橋渡しとなるのだ。



**三重ブランドの
伊勢エビが待っている**

三重県の海の幸を代表するのが「伊勢エビ」。その豪華さに顔がほころぶ。三重県は伊勢エビの魚獲量、生産額ともに全国第2位。直販事業を行う県内の漁協では「三重ブランド」認定のタクを伊勢エビに付けて三重県産を明示している。

問合せ 鳥羽磯部漁業協同組合
☎0599-251-1251
志摩の国漁業協同組合
☎0599-851-1222
(販売 10月〜4月)



**豊饒の海
からの
贈り物**



知多半島と渥美半島に抱かれた穏やかな三河湾、はるか太平洋の大海原に続く伊勢湾。この二つの海が届けてくれる近海の恵みは、驚くほど豊かだ。

春、早春の海から揚がるイカナゴ、シラス、鯛にアサリ。夏にはカタクチイワシ、アナゴに車エビ。秋にはスズキ、カレイ、アマダイ。そして冬、寒さの中で身を引き締めたヒラメ、知る人ぞ知るトラフグ。伊勢湾周辺は実は、トラフグの漁獲高日本一を誇っている。

香りに誘われる大アサリ焼き、浜に揚がったばかりのシラス、独特の料理法で知多の新しい名物になった「トラフグの魚醬焼」、その土地でしか味わえないものと巡り会う楽しみ。

伊勢湾、三河湾の海の幸は、訪れる人を魅了する。



**「的矢かき」と
呼べるのは、ここだけ**

三重県志摩半島にある小さな入り江、的矢湾。ここで養殖される佐藤養殖場のカキこそが、唯一「的矢かき」として三重県ブランドに認定されているもの。思わず歓声が上がる大きな身、強い甘みと潮の香。生でも安心して食べられる品質の高いカキとして、全国のレストラン、ホテルに直接出荷されている。

問合せ 有限会社 佐藤養殖場
☎0599-571-2611
(販売 10月〜3月)

MAP | P124 G-2



**シラスの島で、
シラス三昧**

三河湾と伊勢湾、太平洋に囲まれる篠島は「シラスの島」といわれるほどシラス漁が盛んな所。港でとれたてのシラスを仕入れた仲買人は、すぐに加工場で茹でてシラス干しをつくる。だから地元旅館や食堂では、できたて間もないシラス干しが味わえる。新鮮さが身の上のシラスの刺身もぜひ味わいたい逸品だ。

問合せ 篠島観光案内所
☎0569-167-3700



**フグにタコに、
白ミル貝も**

日間賀島周辺は白ミル貝の漁場。刺身はもちろん、パスタなどにもおいしく、歯ごたえのある食感がくせになりそう。島では、新鮮な刺身のほかに焼き物、炊き込みご飯などいろいろ味わえる。このほか日間賀ブランドのタコ料理、10月からのフグ料理など、海の幸が盛りだくさんだ。

問合せ 日間賀島観光案内所
☎0569-168-2388



**絶対食いたい！
トラフグの魚醬焼**

愛知県随一の水揚げを誇る豊浜漁港。豊かな漁場からは毎年5000tもの新鮮なカタクチイワシが揚がる。このカタクチイワシの活用之道として開発されたのが「しこの露」。化学調味料は一切使わない魚醬で、臭みや塩辛さを抑えた味と香りの良さが、隠し味として人気だ。

この「しこの露」に伊勢湾のトラフグを漬け込んで焼いたのが、トラフグの魚醬焼。見るのも、味わうのも珍しいフグ料理のニューフェイス。香ばしさが食欲をそそる。

問合せ 南知多観光案内所
☎0569-162-3100

郷土の野菜は、スローフードの原点



尾張名所図絵 小田井の市

ここに一枚の絵がある。慶長19（1614）年、徳川家康の命を受けて開かれた「小田井の市」。江戸の神田、大坂の天満と並んで日本の三大市場として栄えた名古屋城下の食をまかなった市場だ。そこに運び込まれるさまざまな産物は、濃尾平野の肥沃な土地と豊かな水が育んだものだ。

おいしい料理に新鮮な土地の食材あり。古くから野菜づくりが盛んな愛知、岐阜一帯では、今もさまざまな野菜づくりが行われている。作付面積、出荷額、生産額のすべてにおいて全国上位5位に入る愛知県産のキャベツ、オオバ、タマネギなど、食卓でおなじみの野菜、今再び注目を集める伝統野菜、ランやキク、サボテンなど花卉の生産が盛んなのも特色。

ものづくり王国は、新鮮野菜の王国でもあるのだ。

豊かな風土が育む
うまいもん

出荷額1位の常連はキャベツ

温暖な渾美半島を中心に生産され、冬から春にかけて全国に出荷される。その栽培は明治にさかのぼり、優良な品種を全国に送り出してきた。



ぎんなん
ほろ苦さと独特の香りで秋を告げるぎんなん。愛知県稲沢市祖父江町一帯は有名な産地。樹齢100年を超える大木があちこちにあり、晩秋、黄金色に染まった風景が美しい。

伝統を受け継ぐ野菜たち

愛知早生ふき

21品目33品種が選ばれた「あいちの伝統野菜」。今から50年以上前に栽培が始まり、地域特有の個性を持つ野菜は、食文化が多様化した今注目のブランドに。

知多半島を中心に明治中頃から栽培が始まり、その生産量は日本一。食物繊維も豊富な日本伝統の風味を楽しみたい。



ファーストトマト

先端がとがったちよと変わった形。ほどよい酸味と食感の優しさが人気。昭和10年から豊橋市で栽培が始まる。



守口大根

世界一細長い大根として有名。全国の七割が愛知県扶桑町で栽培され、ほとんどが独特の風味と歯ごたえを持つ名古屋産「守口漬」になる。

長良川と飛騨の清流が育む

きれいな空気と清流が育む高原野菜、長良川の肥沃な土地が育てる実りみずみずしさが食卓に直線。

岐阜飛騨ホウレンソウ

岐阜県高山市を中心とした飛騨地域の広大な農地と清流で育つ。夏の涼しさを生かして、4月から11月上旬まで出荷され、中でも4月の「ちみほうれんそ」は、寒い季節にゆっくり育つため甘みが強くおいしい。



枝豆

長良川流域の肥沃な土壌で育つ枝豆は、大粒で甘い。



トマトケチャップ

新鮮な野菜は地域オリジナルの加工品にも。岐阜県郡上市「明宝レディス」のトマトケチャップは、明宝特産の桃太郎トマトを使って丁寧に作られた味が好評。問合せ 明宝レディス 0575-1871238



花の王様

ランとバラに会いに行こう



全国一の洋ランの産地、愛知県、シンビシウム、デンドロビウム、カトレアなど多くの種類が栽培されている。その土地柄を自慢する施設が名古屋市内にある「ランの館」とある。国のラン好きの外交官が屋敷を構えたという設定で、ランを中心におしゃれなガーデンが楽しめる。

ランの館
愛知県名古屋市中区大須4-4-1
☎052-243-0511
営 10:00~20:00
休 水曜日（祝日の場合は翌日）
料 700円 MAP P109 D-3

花フェスタ記念公園
岐阜県可児市瀬田1584-1
☎0574-63-7373
営 9:00~17:00
休 毎週火曜日 年末年始
料 4月~11月 大人800円 12月~3月 大人400円
MAP P110 G-3

新鮮野菜直送のレストラン

農場レストラン
モクモク風の葡萄
三重県伊賀山崎の農場「モクモク手づくりファーム」が直営するレストラン。農場の手づくりハム、新鮮な野菜、地ビールやパンなど自慢の食材の味を生かした料理をビュッフェ形式で。愛知県名古屋市中区栄3-6-1 LACHIO7階
☎052-241-0909
営 ランチ11:00~15:00
ディナー17:00~22:00
メニュー ランチ1800円
ディナー2300円
休 不定休 MAP P109 D-3



土に命と愛ありて
ティア佳樹の店
安心して食べられる旬の食材と無添加の調味料を使って、愛情たっぷりの家庭料理を味わわせてくれる店。テーブルには50種類ほどの料理が並び、生産者と輪になって安全で楽しい食事をつくっている。愛知県豊田市若草町2-6-8
☎0565-36-5733
営 ランチ11:30~15:00
ディナー18:00~21:30
メニュー ランチ1575円
ディナー1890円
休 月曜日 MAP P112 H-3



オリジナルな食を支える 醸造文化

味噌、醤油、溜り、味噌、酢、酒などの発酵食品は、この地で得られる原料や水、気候、職人の技術などによって、独自の食文化を培ってきた。

八丁味噌

みそ田楽 八千代本店

明治時代に茶会席としてふるまうた上品なみそ田楽。丹念に練り上げた八丁味噌だれと、備長炭で焼いた豆腐が絶妙。

愛知県岡崎市康生町56-11 岡崎公園内
0564-22-0267

12時~20時 18時30分オードブルストップ
火曜日(休日の場合は翌日)

MAP P112 H-5

愛知、岐阜、三重では、大豆を使った
豆味噌が醸造される。米や麦は使わ
ない。「八丁味噌」の名は、徳川家康
公生誕の岡崎城から西へ八丁(約
870m)離れた八丁村で造られたこ
とに由来する。

八丁味噌は大きな味噌玉(豆こうじ)をつくり、少なめの仕込み水と塩を混ぜ、高さ2m以上の木桶に入れ、糲をよく踏み固める。その上に重石をピラミッド状に積み上げて重しに。そして「三夏二冬」を越す長い熟成期間を経て造られるのが特徴だ。だから手触りが硬く、旨みのギュッと詰まった味噌になる。

「まるや八丁味噌」と「カクキュー八丁味噌」の2社だけが、江戸時代初期からこうした味噌造りを続けていて、いずれも蔵の中を見学させてくれる。

data

株式会社まるや
八丁味噌

愛知県岡崎市八帖町
往還通52
0564-22-0222
(見学無料/予約電話:
0564-22-0222)

MAP P112 H-5



合資会社八丁味噌

愛知県岡崎市八帖町往還通69

0564-21-0151
(見学無料/予約電話:0564-21-1355)

MAP P112 H-5

溜り(たまり)



大豆だけでつくった、中部地方ならではの「溜り醤油」。とろりとして、濃厚な味わい。刺身のほか、加熱するときれいな赤茶色になるので、照り焼きや佃煮などにも使われる。

合資会社丸又商店 知多郡武豊町字里中152
0569-173-0006

「尾張のたまり」360ml 840円
中京地区産の大豆を3年間熟成させた。塩かどがとれて、とてもまろやかな味。

「オーガニックたまり」
360ml 609円 900ml 1208円
有機JAS認定。昔ながらの製法と安全性にこだわった「たまり」

酢

19世紀初頭、江戸で人気を博していた「にぎり寿司」の普及に大きな役割を果たした男がいる。愛知県知多半島半田で酒造業を営んでいた初代中野又左衛門である。

又左衛門は、酒を造るときにできる酒粕を生かすことはできないかとエコロジカルな発想をし、酢造り思い立った。試行錯誤を重ねながら、ようやく「粕酢」の醸造に成功、文化元(1804)年に創業した。

江戸の視察に行った際、注目したの

が「にぎり寿司」だ。売り込みにはたいへんな苦労もあったと思うが、にぎり寿司には、甘みがあり香ばしい風味の「粕酢」がよく合った。やがて又左衛門は、握り寿司の考案者である花屋兵衛と三人三脚でその普及に努めることになる。それにつれ、粕酢の生産量も拡大。阿久比川河畔の工場から江戸へ、尾州廻船で大量の粕酢が運ばれるようになった。

博物館「酢の里」では、昔と現在の酢の文化、そして先人の夢とロマンにふれることができる。

復刻された粕酢「三ツ判山吹」

山吹色をしているところから命名。まろやかで旨みが強く、あれこれ調味料を入れなくても塩味だけで寿司酢には十分。



尾州早すし

地元の方たちと復刻した当時の江戸前の「尾州早すし」。かなり大きく、三つで一人前だったとか。

●尾州早すしの食べられるお店

寿司料亭 魚福

愛知県半田市堀崎町1-14

0569-21-0779 水曜日

MAP P120 H-3

山田家ベル

愛知県半田市稲穂町1-49

0569-28-2126 月・第3火曜日

MAP P120 H-2

豊富な

江戸の視察に行った際、注目したの

水道に使われた木樋(もくひ)



2代目中野又左衛門の功績は「水道の敷設」。知多半島は醸造に大切な良い地下水が出たが、工場からは距離があった。他の醸造会社と一緒に水道網を整備する必要があったのだ。水の漏れない木管、自然落下で長距離を運ぶ工法など、当時の技術を結集した「大公共事業」であったに違いない。この水道は、昭和30年代まで使われていた。



data

博物館「酢の里」

愛知県半田市市中村町2-6 0569-24-5111

9:00~16:00(12:00~13:00は休憩時間 土・日曜、祝日は15:30まで)

休 第3日曜日、年末年始、お盆 見学無料(要予約)

MAP P120 H-3



大吟醸「徳川家康」(丸石醸造株)

ふくよかな香り、きりりと引き締まった淡麗辛口の味わい。丸石醸造は元禄3(1690)年岡崎宿に創業。城下町には各地から酒造りの最先端の技術を持つ人たちが往来し、その技術を磨いていったという。

愛知県岡崎市市中町6125
056412313333

MAP P112 H-5

酒林

毎年、秋になり新酒が搾られると緑色の新しいものに切り替えられる。「新酒ができた」というお知らせ。



日本酒

日本酒は美味しい。この国の風土が育んだ酒を、その土地の料理で味わう。ささやかだけれど心を豊かにする楽しみの一つ。日向、人肌、熱...さまざまな温度で楽しむ燗酒。ワインにもひけをとらない芳醇な香りを持つ大吟醸。甲羅や骨酒にして旨みを味わったり、升酒の香りを楽しんだり、日本酒は日本人とともに独自の文化を育んできた。

そんな日本酒の生まれる場所が、それぞれの土地にある蔵元。地元の水で酒を仕込み、味と品質と個性を守つて酒造りを続けてきた。古くからの伝統が残る愛知、木曾三川の良質な水に恵まれた岐阜には、今も蔵元の誇りを大切にしながら全国の愛好者に向けて、こだけの日本酒を造り続ける蔵元は多い。小さくても、キラリと光る存在として、ものづくり王国の旅を彩る。

三千盛
小仕込純米(株)三千盛
江戸末期から一貫して辛口の酒を造り続け、評論家の永井龍男氏など、根強いファンを持つ。小仕込純米は辛口三千盛の最上級に付けられる名。
岐阜県多治見市笠原町2919
057214313181

蓬萊泉純米吟醸「和」(関谷醸造株)
口に広がるやわらかな甘みと爽やかな酸味は、食材のおいしさを引き立てる。元治元(1864)年創業。ほかに「空」「吟」など、人気の銘酒を販売。
愛知県北設楽郡設楽町山口字町浦22
053616210505

「十年吟醸」長期蔵内冷や囲い(国盛)
創業150周年記念に仕込んだ吟醸酒を10年間低温で熟成させ、160周年記念として出荷した。まろやかな口当たり、円熟した味わいは、時間だけが成せる神秘の力。
愛知県半田市東本町2124
056912311499



data

国盛「酒の文化館」

庄巻なのは「木の道具」。四斗樽、文司、櫓、三味線、狐桶など、一つの名前の付いた道具たちは、実際に使われていたものばかり。かつての職人たちの息づかいが聞こえてきそう。
愛知県半田市東本町2-24 0569-23-1499
10:00~16:00
休 毎月第3木曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12/28~1/5) 盆休み(8月中旬4日間)
料 無料(電話予約) MAP P120 H-3

関谷醸造「吟醸工房」

愛知県豊田市黒田町南水別713 0536-86-3601
酒造りの見学や体験ができる。(要予約) 0536-86-3601
また個人から企業まで、オーダーメイドの酒造りもしてくれる。
10:00~18:00 休 無休 MAP P119 D-5



抹茶と和菓子文化

江戸時代、この地域では茶の湯が流行し、抹茶を飲む習慣が武家はもちろん、庶民にまで浸透した。今では姿を消したが、「野良茶」「野だて」といつて、農作業の合間に田んぼや畑でもたしなまれていた。点前にとらわれず「普通に飲む」という、独特の抹茶文化が暮らしに溶け込んでいたのだ。抹茶生産額が京都宇治と並ぶ西尾市を擁していることから、「茶どころ」であるのは当然かもしれない。

それに支えられ、「和菓子」も長い歴史を培ってきた。なにしろ愛知県は、和菓子出荷額が北海道に次いで全国二位、店舗数なら日本一だ。茶会も数多く催される。茶会のテーマが事前に伝えられると、職人はそこからイメージを出し、打合せを重ねて、当日の和菓子をつくる。器に合わせて、「こんなイメージの和菓子」という注文もある。一つの和菓子は、深い教養に裏づけされた貞剣勝負の芸術でもある。

data

あいや西条園

抹茶を石臼で挽く過程の工場見学ができる。隣接のギャラリーでは、抹茶の歴史やお茶の種類などが学べる。ショップも充実。
愛知県西尾市上町15
見学は9:00~11:30、13:30~16:00 販売は8:30~18:00
見学は日曜・祝日、販売は無休
無料(要予約) MAP P123 A-3

あわ雪豆腐(備前屋)

天明2(1782)年創業当時、岡崎宿の茶屋で供された「あわ雪豆腐」は、東海道名物として有名だった。明治初年に菓子「あわ雪」として創作すると、全国に広まる銘菓に。写真は材料も含め、再現したもの。



MAP P112 H-5

愛知県岡崎市伝馬通2117
012012341232
8時30分~21時
無休

MAP P112 H-5

data

千代の糸(松華堂)

伊勢芋からつくる「練り薯蕷」を紅白に染め分け、白小豆粒餡の上から糸状にかけた、芋の風味と餡の調和が上品な味わい。明治時代に11代目が創業し、現在までつくり続けている銘菓で、茶人から愛好家まで人気がある。

MAP P120 H-3

愛知県半田市御幸町103
05692110046
8時~17時30分 水曜日



二人静(両口屋是清)

四国阿波特産の和三盆糖を使ひ、菓子。両口屋是清は創業370年。第二代藩主光友公の御意を得て、菓子所両口屋是清という菓子店を、いたいた名古屋いちばんの老舗。

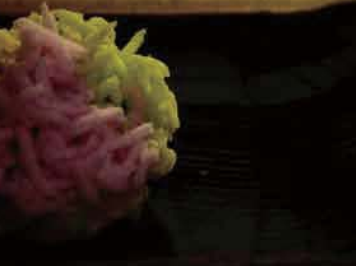
愛知県名古屋市中区丸の内314-23
01201052062
8時30分~19時
第3日曜日 元旦

MAP P109 D-3



春の園(両口屋是清)

三色に染めた煉薯蕷の「きんごん」に、春の趣として草花の芽吹き、花の可憐な様子を託した可愛い生菓子。



名古屋グルメ 大人版 ベスト八

名古屋に来たなら、ぜひ食べたい。
やはり街に出て、
おいしいものが食べたい！
大人のための、
おすすめグルメ

その一 名古屋コーチン鍋



明治時代、もと尾張藩士
だった海部兄弟によってつ
くられた特産鶏。赤みを
帯びた弾力のある肉質で、
独特のコクと旨みがある。
鍋料理はぜひ一度、味わい
たい。

◎名古屋コーチン料理の店
つかさ

濃厚な香り、染み出る肉の旨み。
秘伝の味噌が自慢の「名古屋コ
ーチンの味噌鍋」がおすすめ。ほ
かにも専門店ならではの豊富な
メニュー。名古屋コーチンを堪能
しよう。

愛知県名古屋市中村区名駅4-3-26 キャッスルプラザB1
☎ 052-582-2141
営業 11:30～14:00 17:00～21:30
※なし
名古屋コーチンの味噌鍋 3465円
MAP P109 C-3

その三 天むす



えびの天ぶらが入ったミニ
サイズのおにぎり。芸能人
やスポーツ選手にも大人気！
昭和55（1980）年に登
場すると、全国に知られる
名物になった。

◎めいふつ天むす千寿（せむし）
元祖「天むす」。天むすだけのテイク
アウトが主だが、12時から14時までイ
ートイン可。最高級の米、エビ、海苔を
使い、一つ一つ手で握る。ベタッとした
香ばしさが、この店の特徴。夕方には
売り切れるので、予約をして。

愛知県名古屋市中区
大須4-10-82
☎ 052-262-0466
営業 8:30～18:00
※火・水曜日
天むす（5個）672円
MAP P109 D-3

その二 ひつまぶし



細かく刻んだうなぎがお
ひつにぎゅうしり。茶碗に盛っ
てますはそのまま、次はネ
ギなどの薬味を入れて、次
はダシを注いでお茶漬けで
と、多様な食べ方が楽しい！

◎あつた運葉軒
神宮南門店
江戸末期、熱田神宮の西門で営
業。昭和24（1949）年同境内
内東門に割烹料理の店を出し、
「ひつまぶし」が看板料理に。脂
ののった三河産のうなぎが一人
前で一匹半も使われている。

愛知県名古屋市熱田区神宮2-10-26
☎ 052-682-5598
営業 11:30～14:30 16:30～20:30
※火曜日（祝日は営業） 12/30.31.1/1
ひつまぶし 2520円
MAP P109 D-4

その四 きしめん



ひらいたしめんは、1610
年の名古屋城築城の際、
膨大な人数の人足たち
の主食として、茹で時間
を短縮するために考え
られたという説も。

◎よしだきしめん
ターミナル店

明治23（1890）年創業の
製麺所の直営店。その日の
湿度や気温に応じて練り上
げた麺はもちりとしている。
昔ながらの天然だしを使っ
たつゆがやさしい味わい。

愛知県名古屋市中村区名駅1-1-2ターミナルビル7F
☎ 052-562-0075
営業 11:20～20:30 ※無休
※天ぷらきしめん 820円 MAP P109 C-3

その六 味噌カツ



名古屋でとんかつとい
えば、コレ！揚げ
たてのとんかつに、
赤味噌ベースのタレ
をたっぷり。キャベツ
も一緒にとんどん食
べられて健康的。

いし河
愛知県名古屋市中区錦3-23-31
栄町ビル地下1階
☎ 052-971-1340
コースカツ定食、ヒレカツ定食 780円
MAP P109 D-3

その七 味噌おでん



牛のスジ肉や大根などを八丁味
噌で煮込んだ、名古屋独特の郷土
料理。見た目より味は濃くなく、
深みがある。お酒にもご飯にも、
相性がいい。

島正（しましょう）
愛知県名古屋市中区栄2-1-14
☎ 052-231-5977
味噌おでん 1本 150円～
MAP P109 C-3

世界の山ちゃん本店
愛知県名古屋市中区栄4-9-6
☎ 052-242-1342
営業 17:00～23:55
（日曜、祝日は17:00～22:30）
※無休
※一人前（5本） 399円
MAP P109 D-3

その五 味噌煮込みうどん

コシが強く太い麺と八丁味
噌が特徴。蓋を小皿代わ
りに使って食べよう。白いご
飯も注文して、味噌つゆと
卵をかけて食べるのが通！
た秘伝の調合で加える。

◎山本屋総本家

大正14（1925）年創業の味噌
煮込み専門店。天然だしに溜り
醤油と味噌で味付けした澄まし
汁がベース。そこに八丁味噌と
名古屋産の白味噌を、守り続け
た秘伝の調合で加える。

愛知県名古屋市中区栄3-12-19
☎ 052-241-5617
営業 11:00～22:00 ※無休
※親子煮込みうどん 1344円 MAP P109 D-3



その八 手羽先

鶏の手羽先を唐揚げにし、
秘伝のタレとフレンチドス
パイスで味付けしたもの。
食べ方にちよつとコツが
ある。お店の人に教えて
もらって、豪快にかぶり
つこう。

